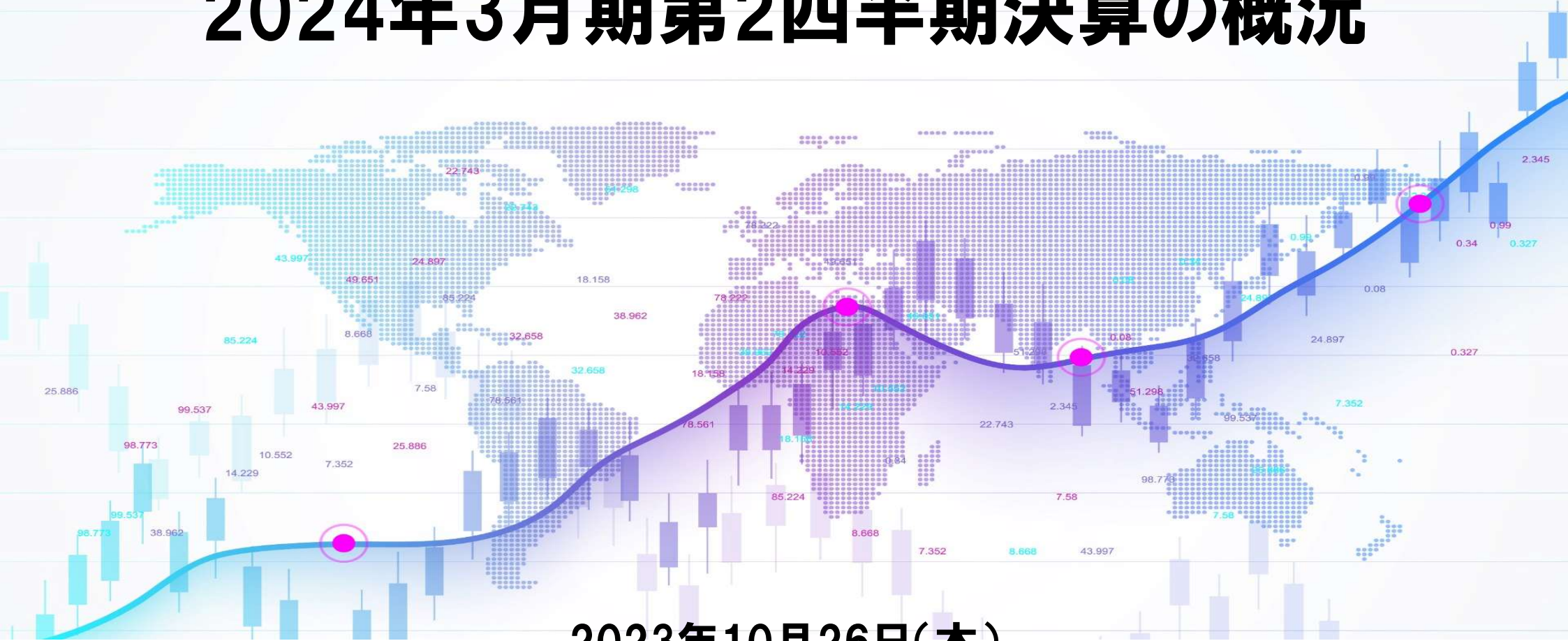


2024年3月期第2四半期決算の概況



2023年10月26日(木)

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 朝倉 智也

連結決算の概況

連結業績

売上高と全ての利益項目で過去最高を更新
経常利益と当期利益は14期連続の増益を達成

(単位:百万円)

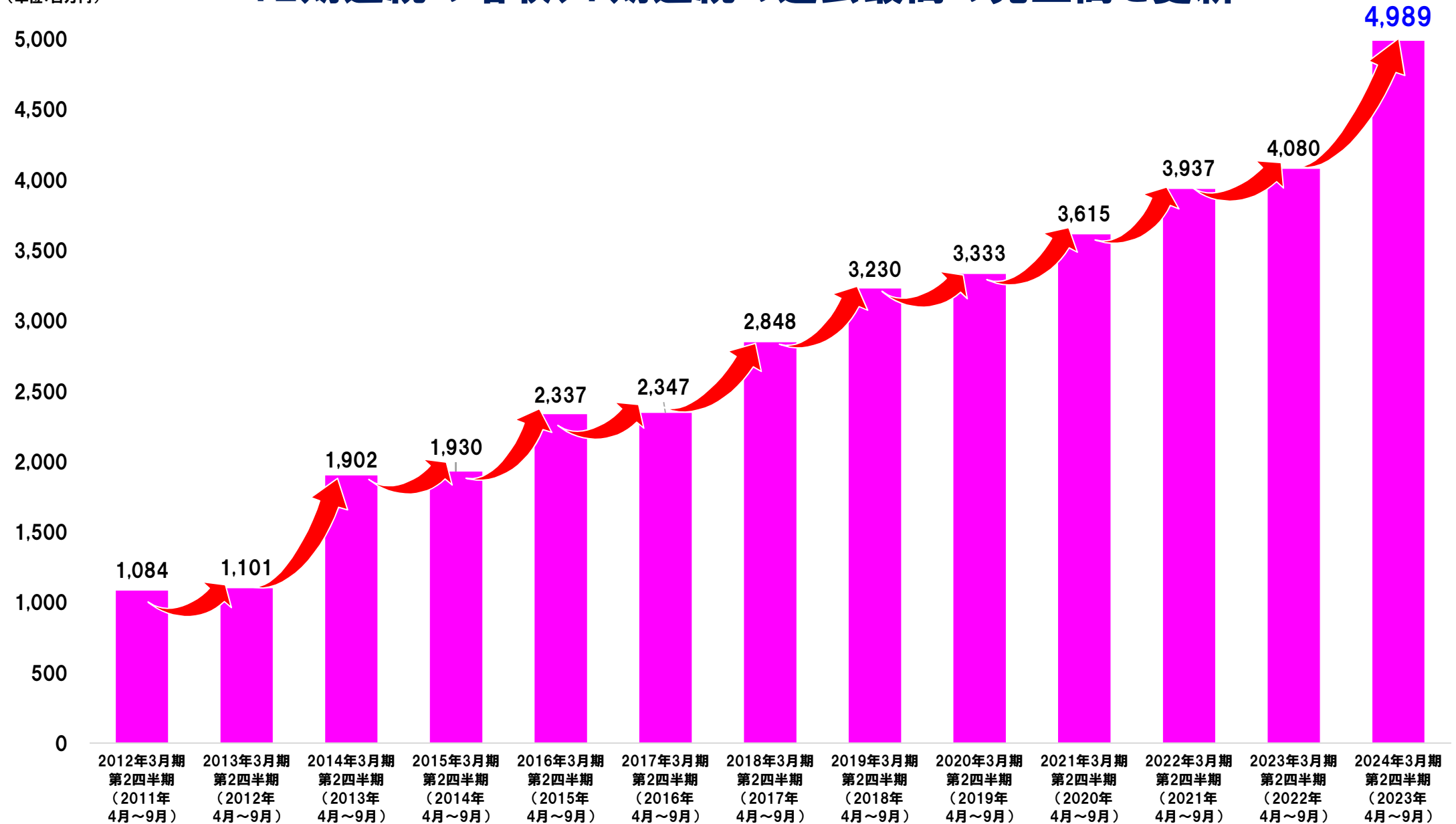
	2023年3月期 第2四半期 (2022年4月～9月)	2024年3月期 第2四半期 (2023年4月～9月)	増減率 (%)
売上高	4,080	過去最高 4,989	22.3
営業利益	1,022	過去最高 1,127	10.3
経常利益	1,234	過去最高 1,363	10.5
当期利益	725	過去最高 858	18.3

※当期利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を意味する

連結売上高の推移

12期連続の増収、7期連続の過去最高の売上高を更新

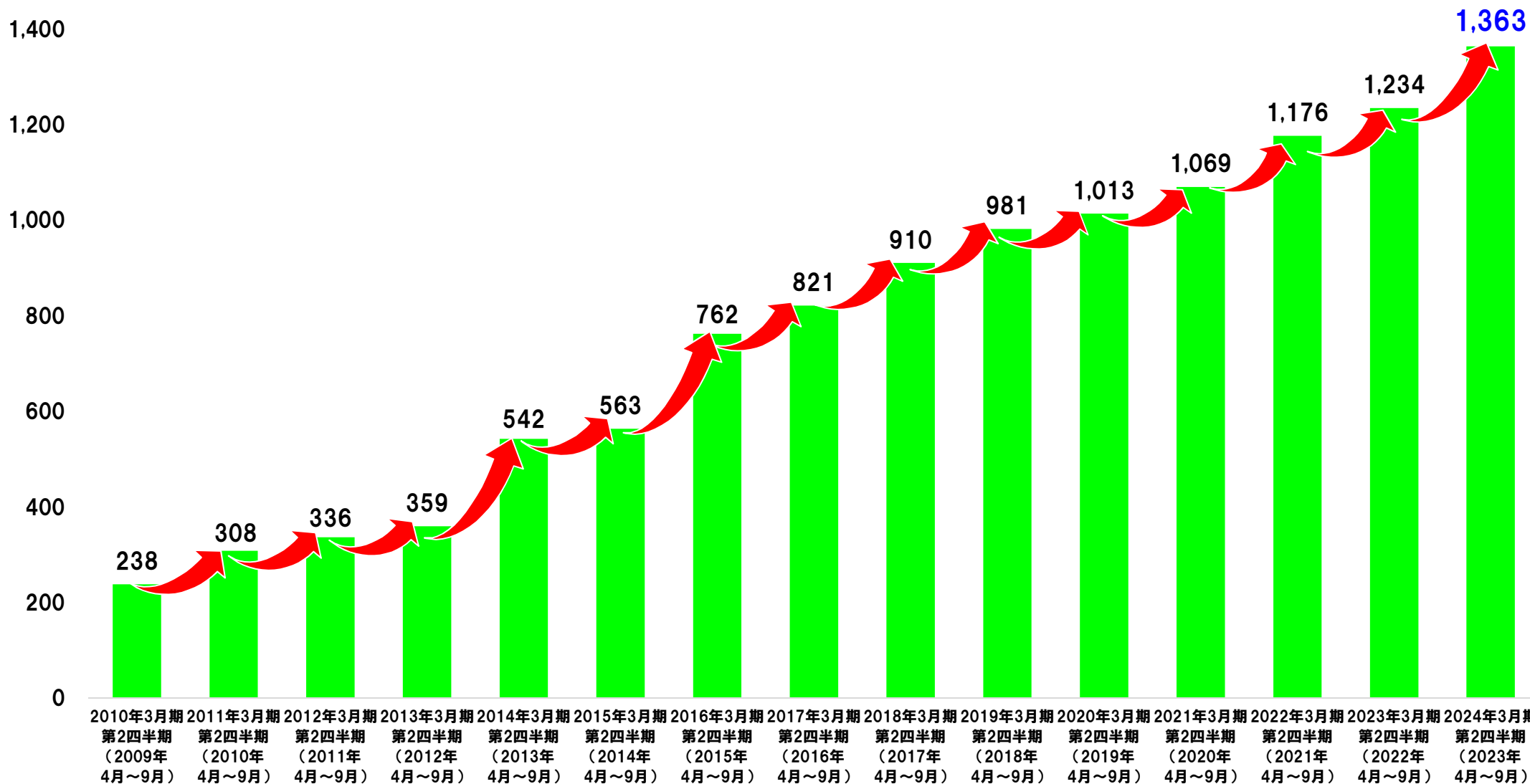
(単位:百万円)



連結経常利益の推移

14期連続の増益、12期連続の過去最高益を更新

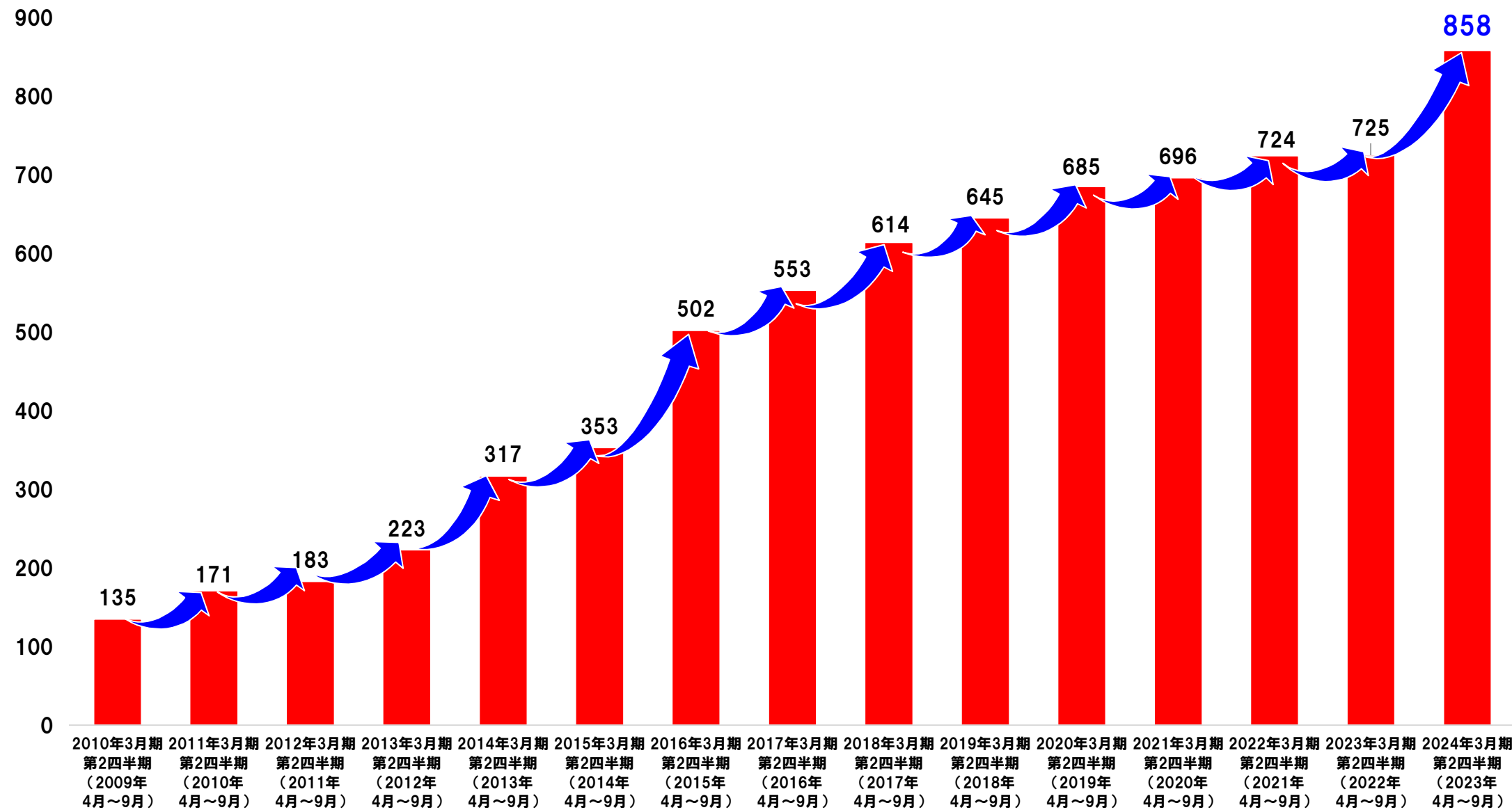
(単位:百万円)



連結当期利益の推移

14期連続の増益、9期連続の過去最高益を更新

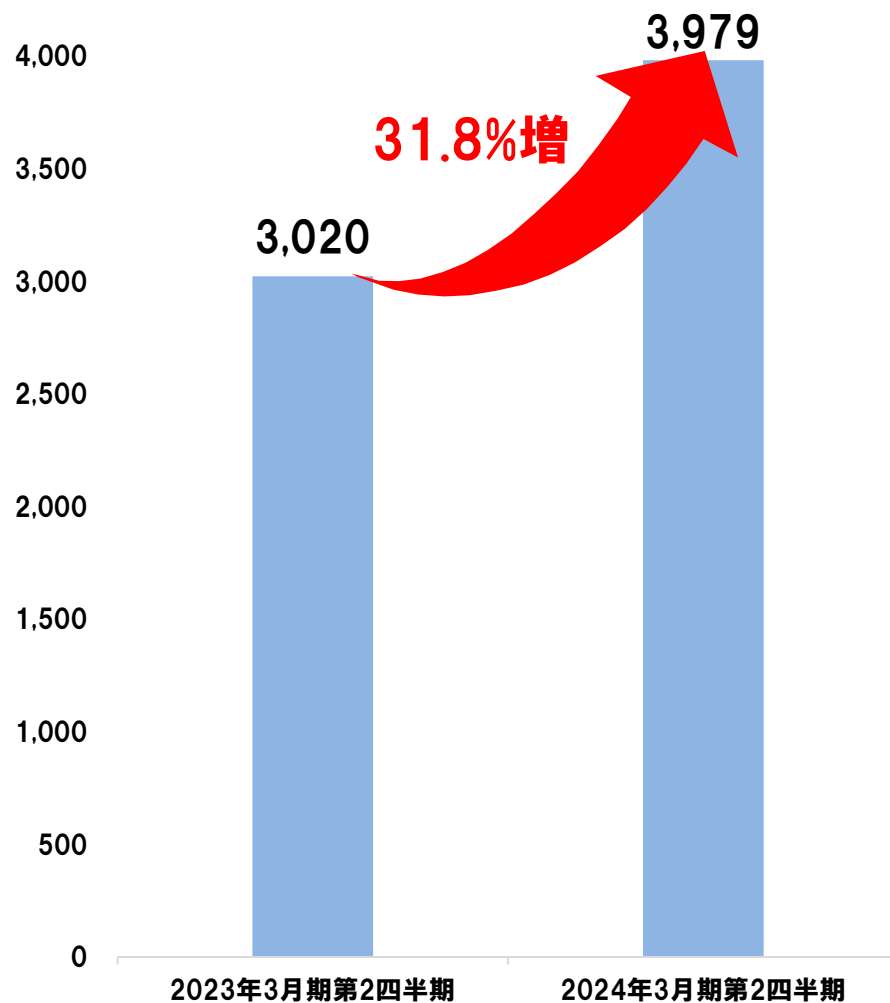
(単位:百万円)



セグメント別の売上高

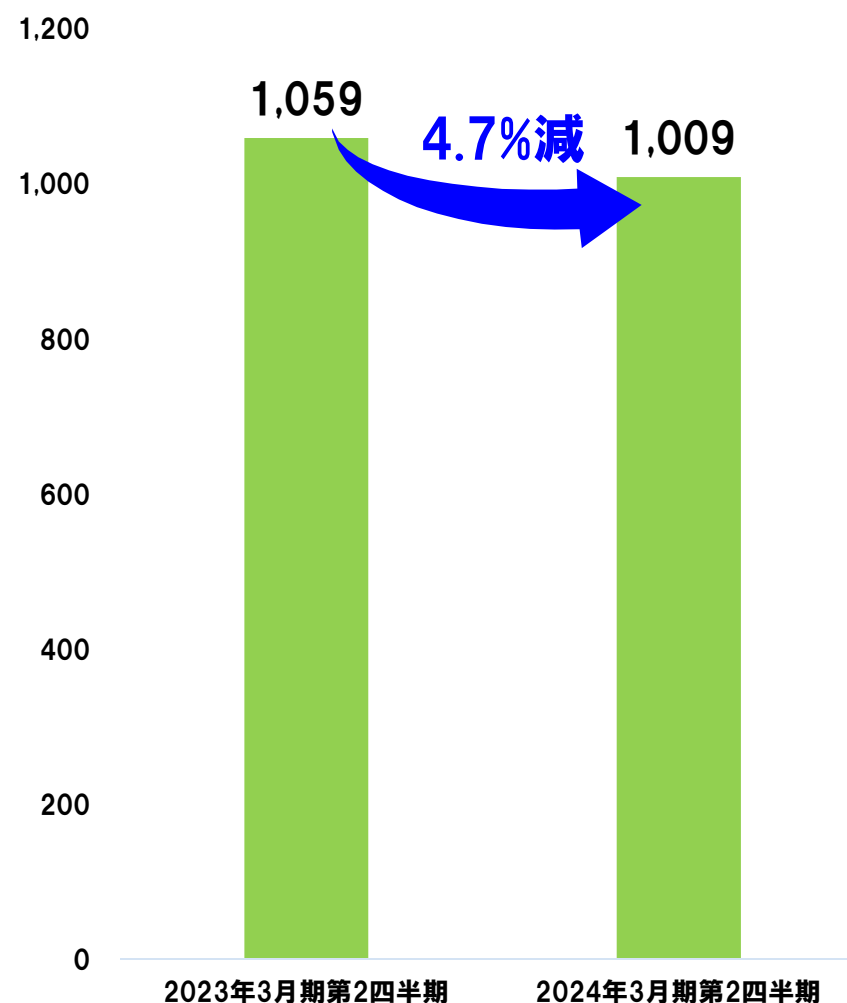
<アセットマネジメント事業>

(単位:百万円)



<ファイナンシャル・サービス事業>

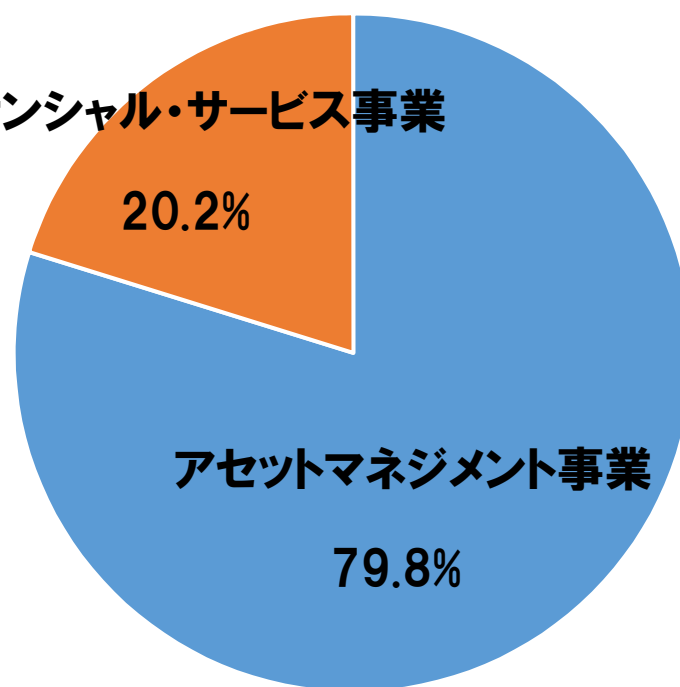
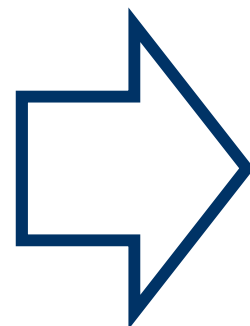
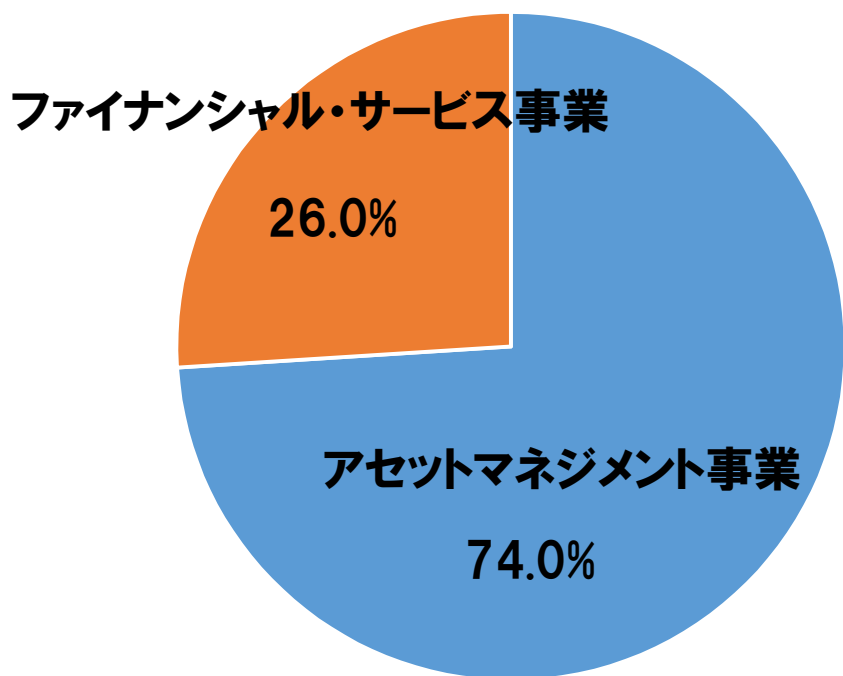
(単位:百万円)



セグメント別の売上高構成比

<2023年3月期第2四半期>

<2024年3月期第2四半期>



主要サービス別の売上高の増減

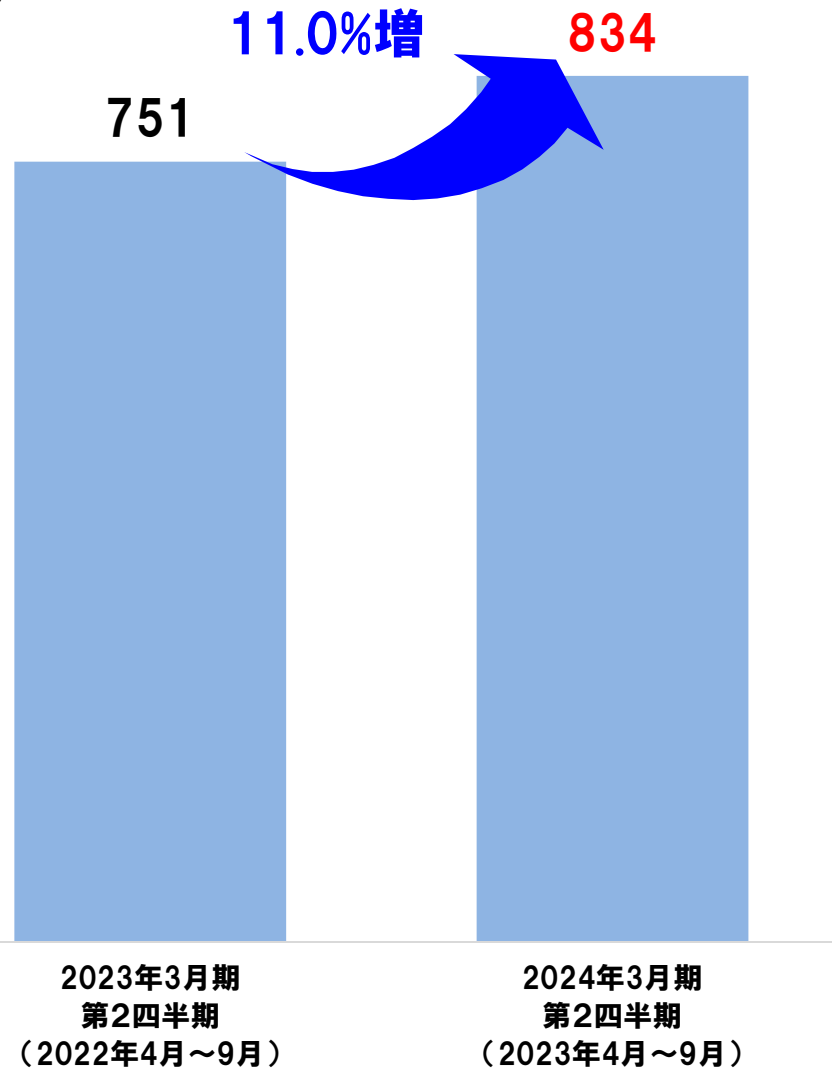
(単位:百万円)

サービス名称		2023年3月期 第2四半期 (2022年4月～9月)	2024年3月期 第2四半期 (2023年4月～9月)	増減率 (%)
アセットマネジメント 事業	SBIアセットマネジメント (運用報酬)	2,290	3,235	41.2
	CARRET Asset Management (運用報酬)	719	742	3.1
ファイナンシャル・ サービス事業	タブレット端末向けのデータ (定常的)	324	329	1.5
	スマートフォン、PC向けのデータ (定常的)	468	478	2.1
	スマートフォン、PC向けのデータ (一時開発)	12	0	-
	メディア・ソリューション (セミナー・WEB広告等)	156	194	24.3

セグメント別の営業利益

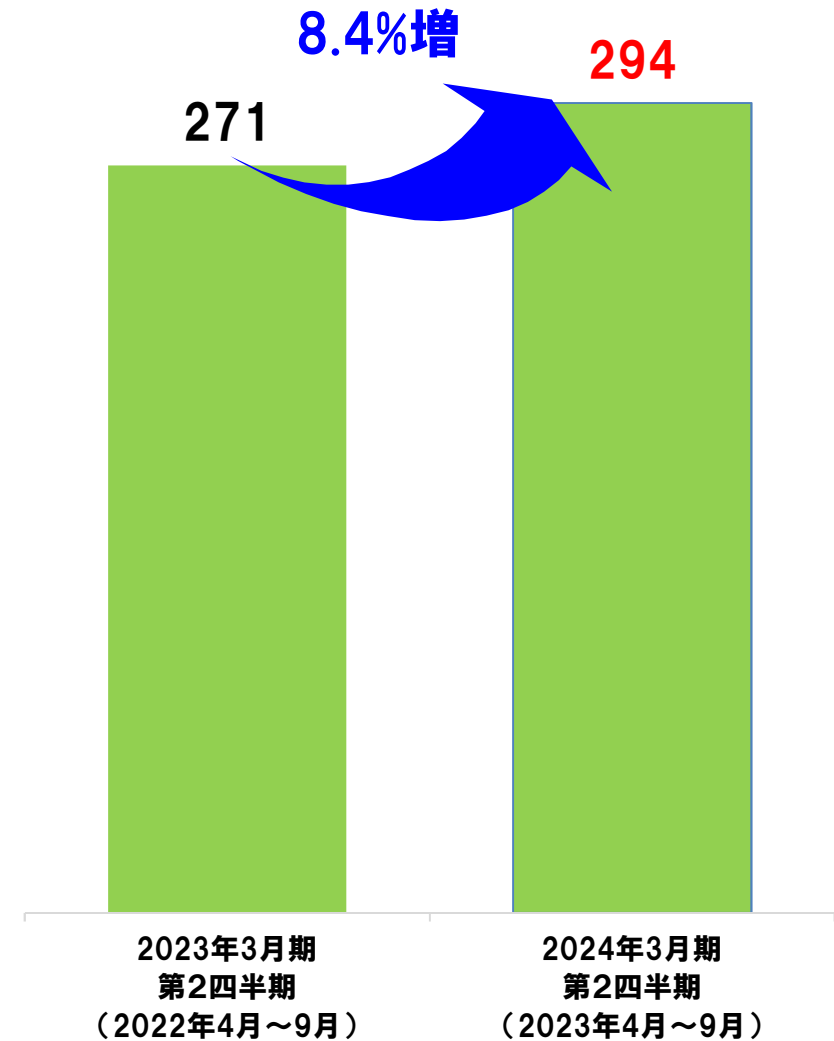
<アセットマネジメント事業>

(単位:百万円)



<ファイナンシャル・サービス事業>

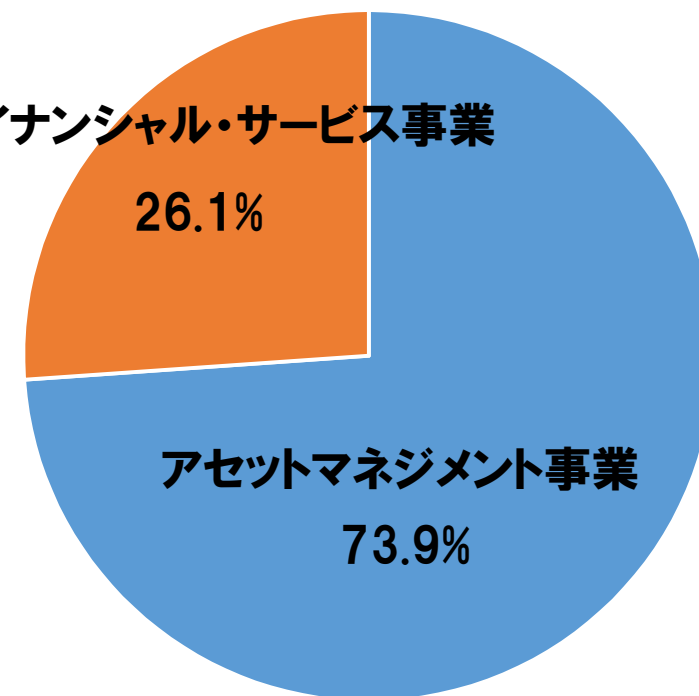
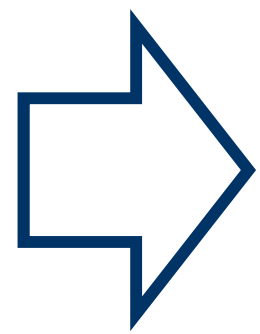
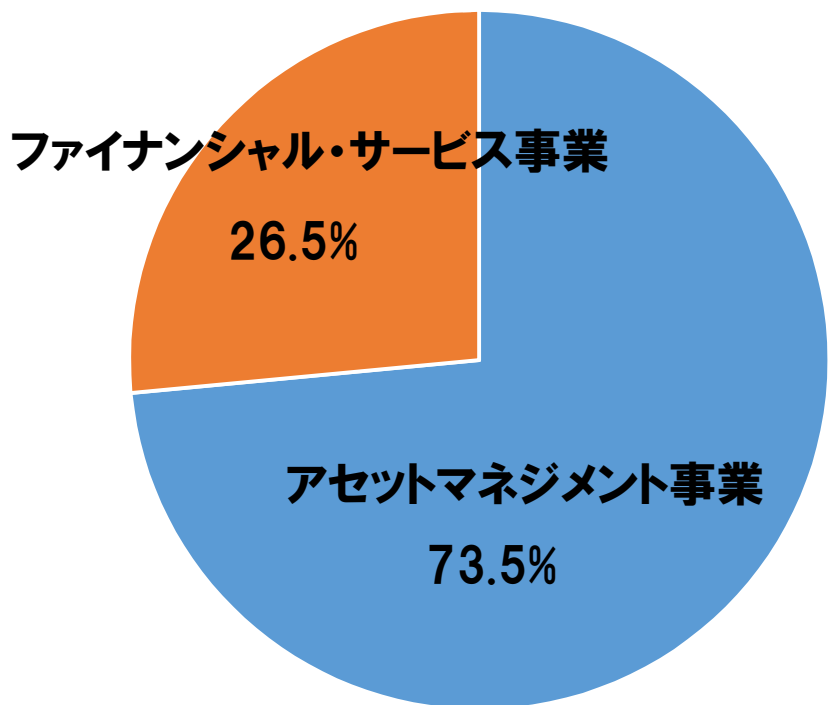
(単位:百万円)



セグメント別の営業利益構成比

<2023年3月期第2四半期>

<2024年3月期第2四半期>



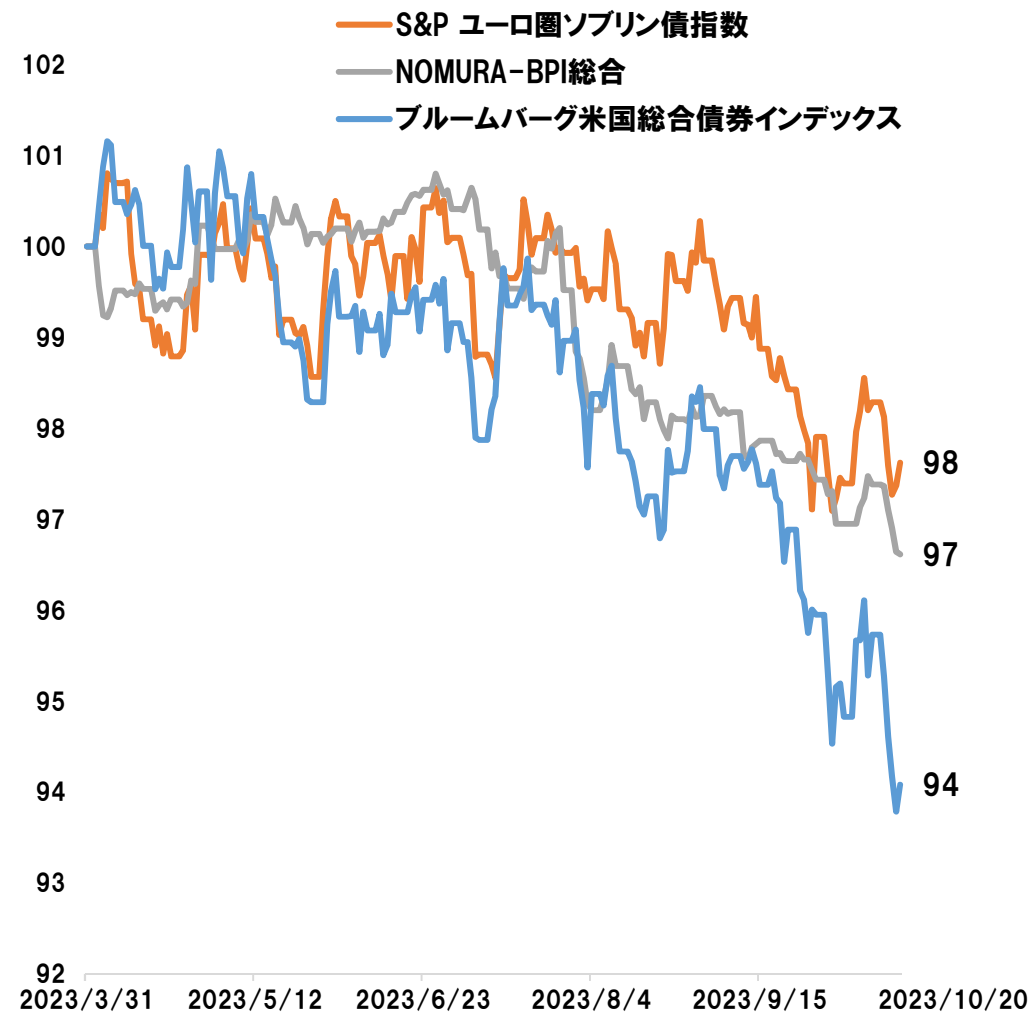
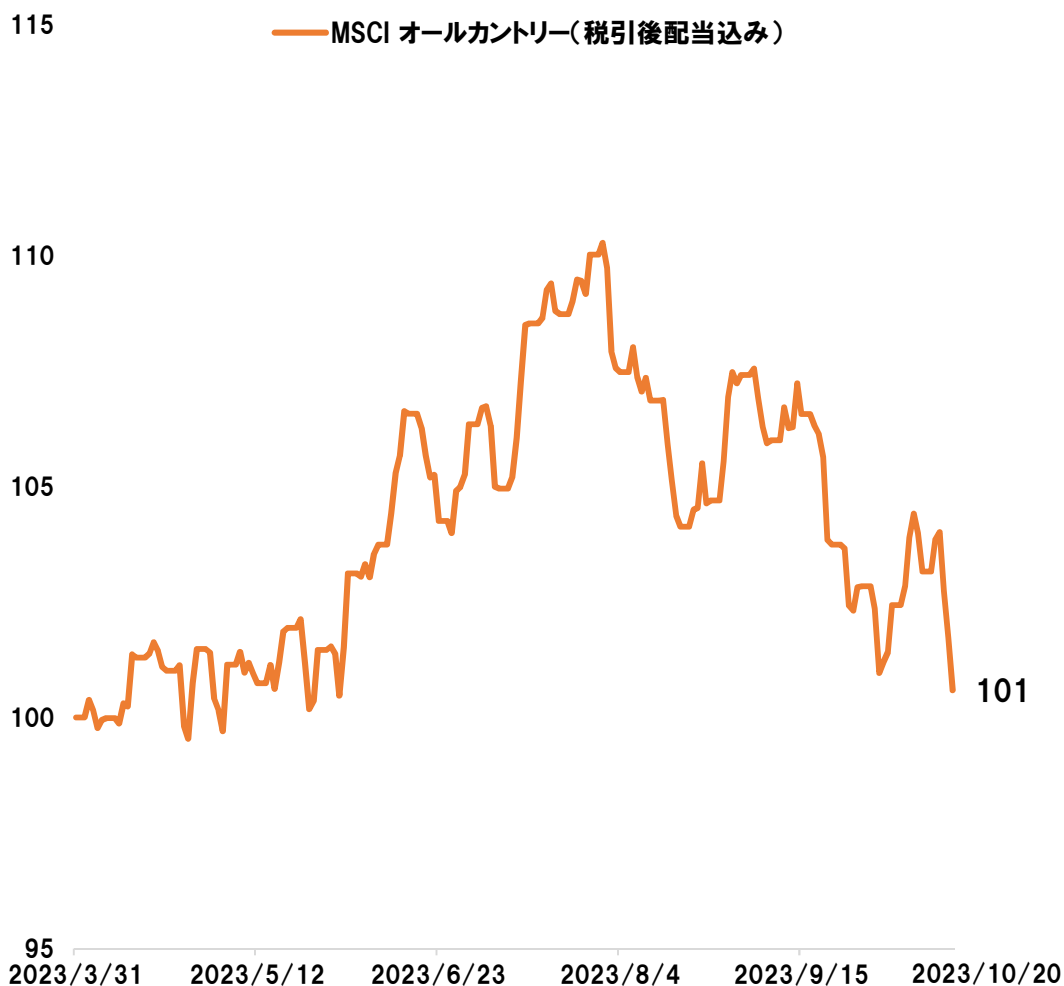
アセットマネジメント事業

2023年度上半期の世界のマーケット

2023年4月以降は、世界の株、債券ともに厳しい状況

<世界の株式>

<世界の債券>

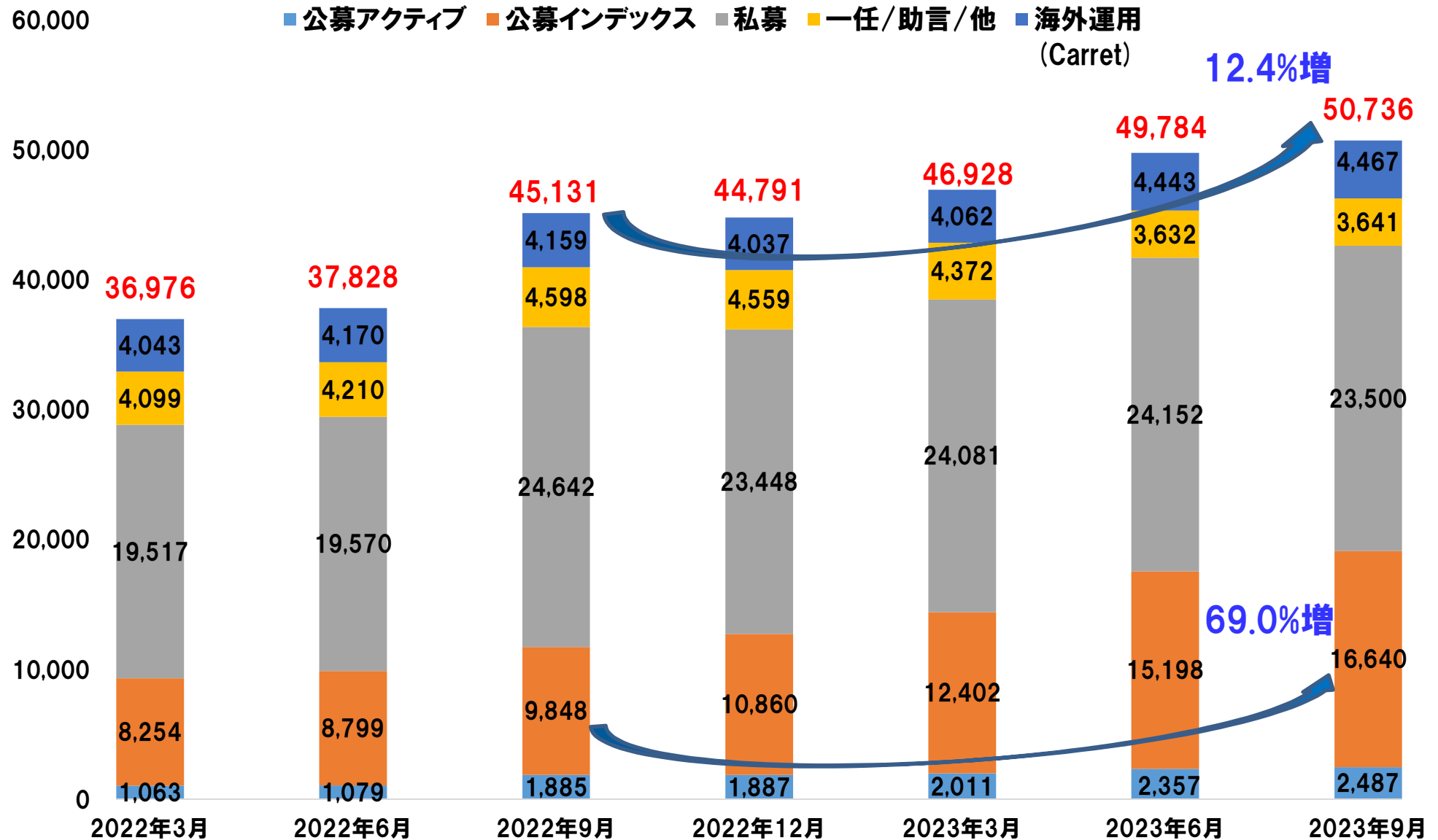


※ 2023年3月31日=100で指数化

当社グループの運用残高は5兆円を突破

当社グループ全体の運用残高の推移

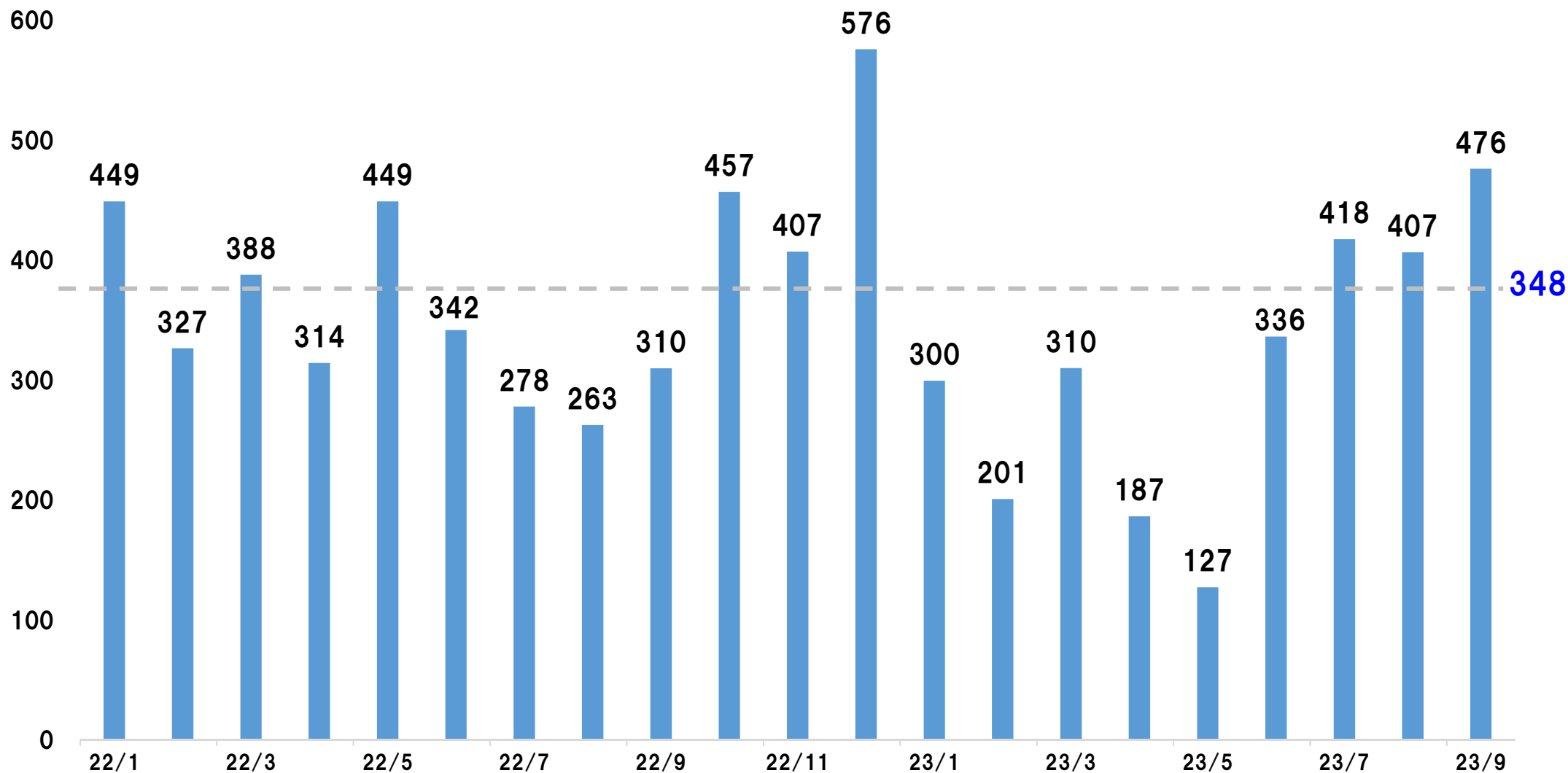
(単位:億円)



SBIアセットマネジメントの インデックスファンドの月次純資金流入額

2022年1月からの月次純資金流入額の平均:348億円

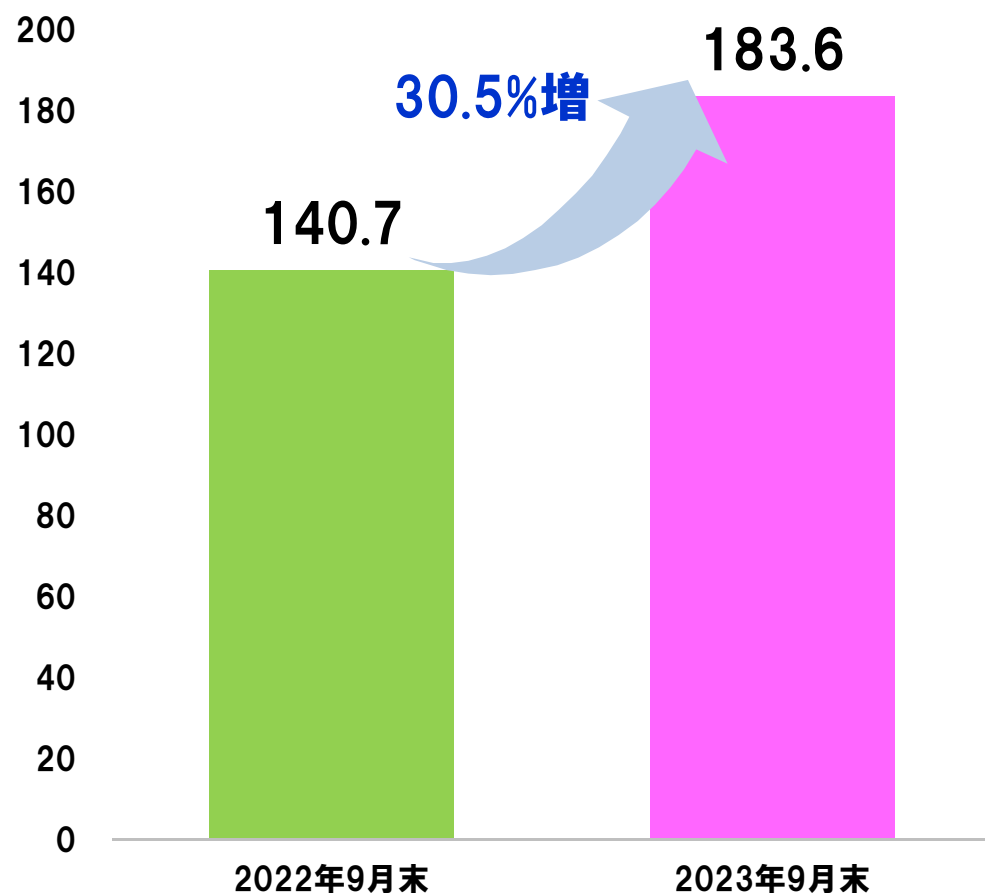
(単位:億円)



インデックスファンドの受益者数と積立口座数の伸び

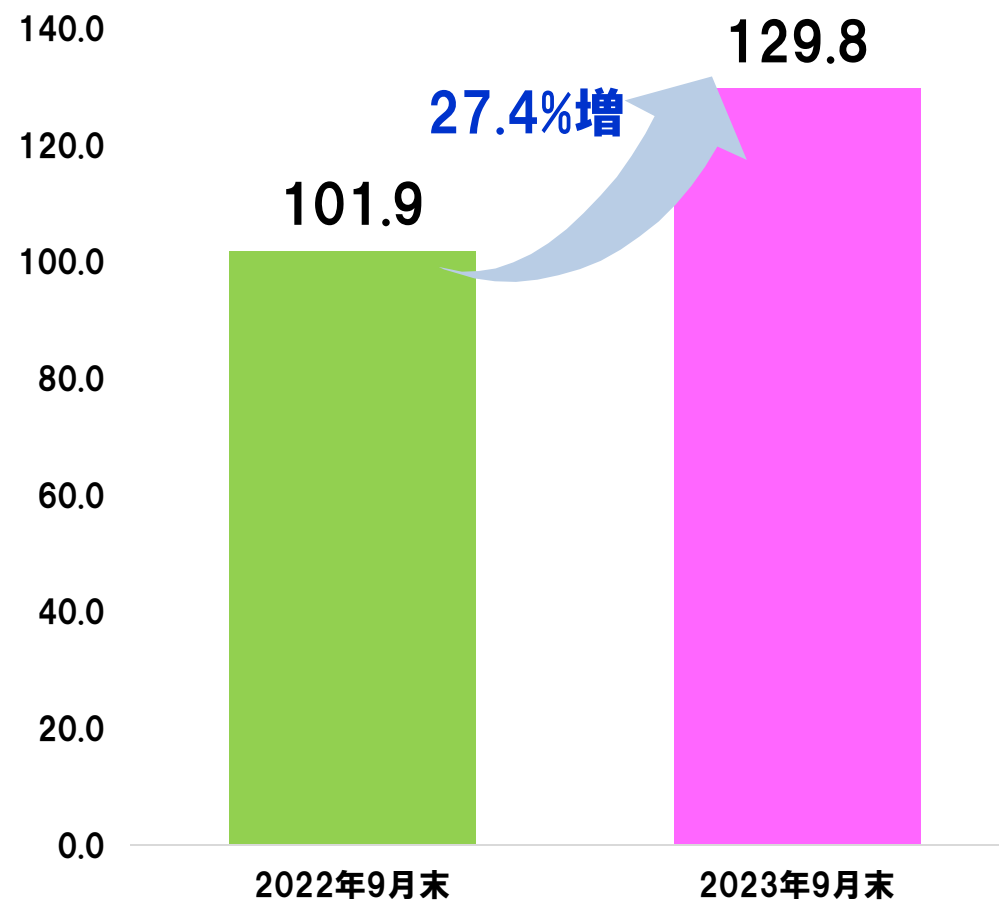
<受益者数>

(単位:万人)



<積立口座数>

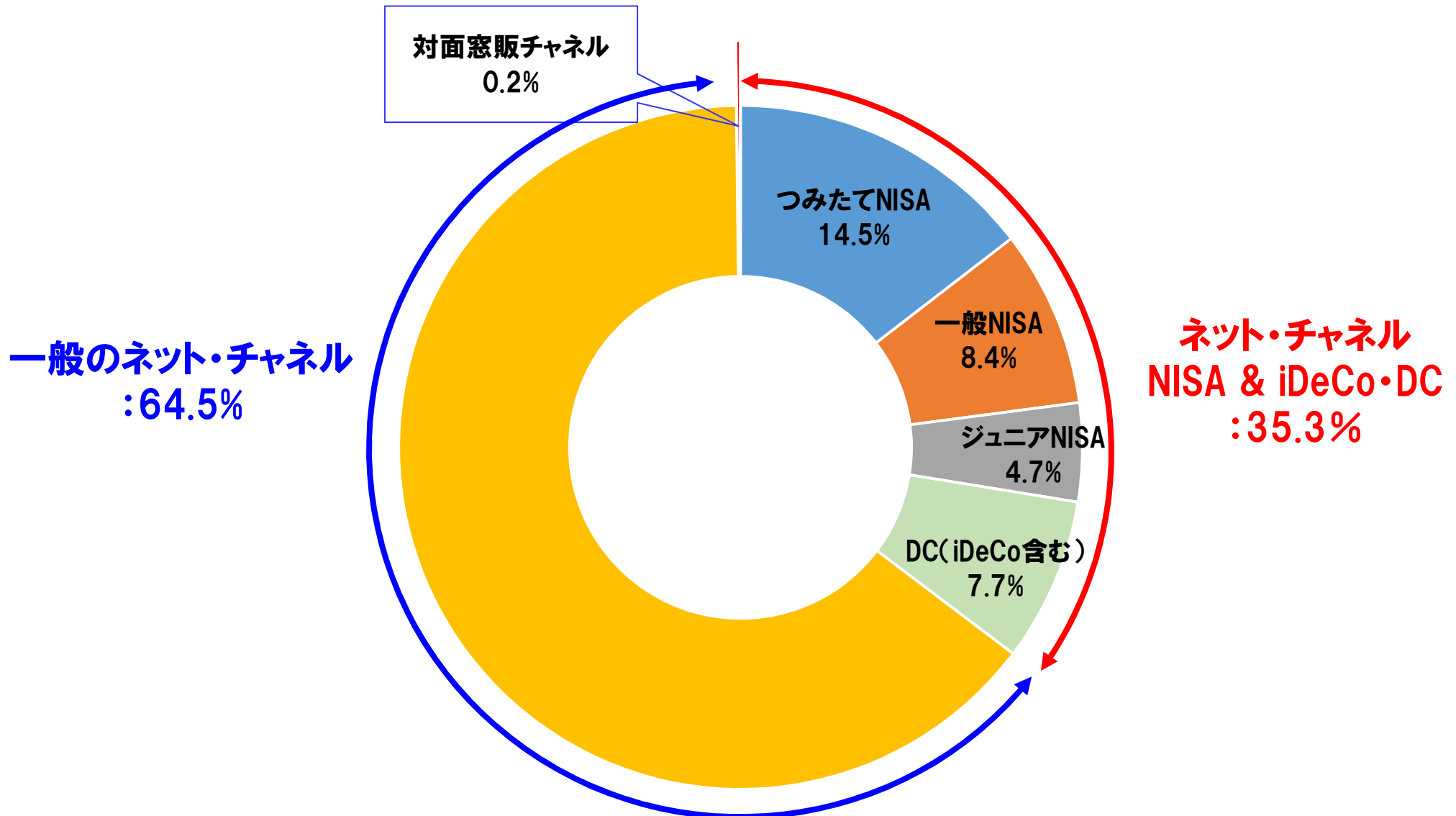
(単位:万口座)



※ 受益者数と積立口座数はSBI証券1社だけの数字

インデックスファンドの購入経路

ネット・チャンネル(NISA & iDeCo・DC含む)で、ほぼ100% (99.8%)



運用会社の公募株式投信(除くETF)の残高ランキング

SBIアセットマネジメントは3年で5.7倍の増加

2020年9月末

	運用会社	純資産総額(除くETF) (億円)
1	野村	84,094
2	AMOne	73,313
3	大和	67,822
4	三菱UFJアセット	63,780
5	日興	54,700
6	三井住友TAM	47,090
7	三井住友DS	43,981
8	フィデリティ	24,005
9	ニッセイ	21,511
10	ゴールドマン	16,947
11	東京海上	16,834
12	ビクテ	16,715
13	アライアンス	11,681
14	JPモルガン	7,858
15	レオス・キャピタルワークス	7,407
16	ティ・ロウ・プライス	7,125
17	りそな	7,030
18	岡三	6,098
19	アムンディ	6,040
20	しんきん	4,578

24	SBIアセット	3,454
----	---------	-------

2023年9月末

	運用会社	純資産総額(除くETF) (億円)	伸び率 (2020年9月比)
1	三菱UFJアセット	138,404	2.2倍
2	野村	119,399	42.0%
3	AMOne	95,951	30.9%
4	大和	89,923	32.6%
5	三井住友DS	75,353	71.3%
6	三井住友TAM	66,049	40.3%
7	日興	55,582	1.6%
8	フィデリティ	41,174	71.5%
9	アライアンス	35,731	3.1倍
10	ニッセイ	30,677	42.6%
11	ゴールドマン	23,427	38.2%
12	ビクテ	20,882	24.9%
13	SBIアセット	19,622	5.7倍

5.7倍

公募インデックスファンドの純資金流入額ランキング

(2022年10月～2023年9月)

順位	運用会社	純資金流入累計額 (億円)
1	三菱UFJ	19,552
2	SBIアセット	4,193
3	楽天	3,512
4	野村	3,489
5	大和	2,847
6	三井住友DS	1,881
7	アセマネOne	1,501
8	ニッセイ	1,484
9	三井住友TAM	650
10	日興	530

インデックスファンドの資産別純資金流入額ランキング-(1)

(2023年4月～9月)

<米国株式>

順位	ファンド名	運用会社	純資金流入額 (億円)
1	eMAXIS Slim米国株式 (S&P500)	三菱UFJ	3,495
2	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBIアセット	1,115
3	楽天・全米株式インデックス・ファンド	楽天	1,051
4	米国株式配当貴族 (年4回決算型)	野村	639
5	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	SBIアセット	186
6	iFreeS&P500インデックス	大和	167
7	ニッセイ NASDAQ100インデックスファンド	ニッセイ	134
8	インデックスファンドS&P500 (アメリカ株式)	日興	126
9	SMBC・DCインデックスファンド (S&P500)	三井住友DS	99
10	米国株式インデックス (S&P500)	大和	81

(1) 国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ファンドラップ専用、ETF除く)のうち、以下のウエルスアドバイザーカテゴリーに属するインデックスファンドが対象

(2) ウェルズアドバイザーカテゴリー:「国際株式・北米(為替ヘッジなし)」

(3) アクティブ/インデックスの区分は投資信託協会の区分に基づく

インデックスファンドの資産別純資金流入額ランキング-(2)

(2023年4月～9月)

<全世界株式>

順位	ファンド名	愛称	運用会社	純資金流入額 (億円)
1	eMAXIS Slim全世界株式(オール・カントリー)		三菱UFJ	3,422
2	楽天・全世界株式インデックス・ファンド	楽天・VT	楽天	453
3	SBI・全世界株式インデックス・ファンド	雪だるま(全世界株式)	SBIアセット	250
4	SBI・V・全世界株式インデックス・ファンド	SBI・V・全世界株式	SBIアセット	45
5	たわらノーロード 全世界株式		アセマネOne	33
6	SBI・先進国株式インデックス・ファンド	雪だるま(先進国株式)	SBIアセット	21
7	全世界株式インデックス・ファンド		ステート・S	20
8	しんきん 全世界株式インデックスファンド		しんきん	19
9	Tracers MSCIオール・カントリー(全世界株式)		日興	16
10	インデックスMSCIオール・カントリー(全世界株式)		日興	11

- (1) 国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ファンドラップ専用、ETF除く)のうち、以下のウエルスアドバイザー・カテゴリーに属するインデックスファンドが対象
(2) ウェルズアドバイザー・カテゴリー:「国際株式・グローバル・含む日本(為替ヘッジなし)」
(3) アクティブ/インデックスの区分は投資信託協会の区分に基づく

インデックスファンドの資産別純資金流入額ランキング-(3)

(2023年4月～9月)

<新興国株式:複数国>

順位	ファンド名	愛称	運用会社	純資金流入額 (億円)
1	eMAXIS Slim新興国株式インデックス		三菱UFJ	87
2	つみたて新興国株式		三菱UFJ	28
3	インデックスF海外新興国株式	DCインデックス海外新興国株	日興	26
4	SBI・新興国株式インデックス・ファンド	雪だるま(新興国株式)	SBIアセット	19
5	たわらノーロード新興国株式		アセマネOne	13
6	iFree新興国株式インデックス		大和	10
7	Smart-i 新興国株式インデックス		りそな	6
8	SBI・V・新興国株式インデックスF	SBI・V・新興国株式	SBIアセット	4

<新興国株式:単一国>

順位	ファンド名	愛称	運用会社	純資金流出入額 (億円)
1	iFreeNEXT インド株インデックス		大和	365
2	SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・F	サクっとインド株式	SBIアセット	67
3	auAM Nifty50インド株ファンド		au	6

(1) 国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ファンドラップ専用、ETF除く)のうち、以下のウエルスアドバイザー・カテゴリーに属するインデックスファンドが対象

(2) ウェルズアドバイザー・カテゴリー: 新興国株式: 複数国は、「国際株式・エマージング・複数国(為替ヘッジなし)」、

新興国株式: 単一国は、「国際株式・インド(為替ヘッジなし)」、「国際株式・中国(為替ヘッジなし)」、「国際株式・ブラジル(為替ヘッジなし)」

(3) アクティブ/インデックスの区分は投資信託協会の区分に基づく

インデックスファンドの資産別純資金流入ランキング-(4)

(2023年4月～9月)

<米国債券>

順位	ファンド名	愛称	運用会社	純資金流出入額 (億円)
1	SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックスF	サクッと米国総合債券	SBIアセット	20
2	ステート・ストリート 米国社債インデックス2		ステート・S	2
3	SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債インデックスF	サクッと米国適格債(1-5年)	SBIアセット	2

<金>

順位	ファンド名	愛称	運用会社	純資金流出入額 (億円)
1	iシェアーズ ゴールドインデックス(H無)		ブラックロック	17
2	SBI・iシェアーズ・ゴールド(H無)	サクッと純金(為替ヘッジなし)	SBIアセット	10
3	SBI・iシェアーズ・ゴールド(H有)	サクッと純金(為替ヘッジあり)	SBIアセット	5

- (1) 国内公募追加型株式投信(確定拠出年金専用、ファンドラップ専用、ETF除く)のうち、以下のウェルズアドバイザー・カテゴリーに属するインデックスファンドが対象
 (2) ウェルズアドバイザー・カテゴリー: 米国債券は、「国際債券・北米(為替ヘッジなし)」、金は、「コモディティ」
 (3) アクティブ/インデックスの区分は投資信託協会の区分に基づく

国内初の「グローバルサウス」地域の株式を 投資対象としたファンドの設定

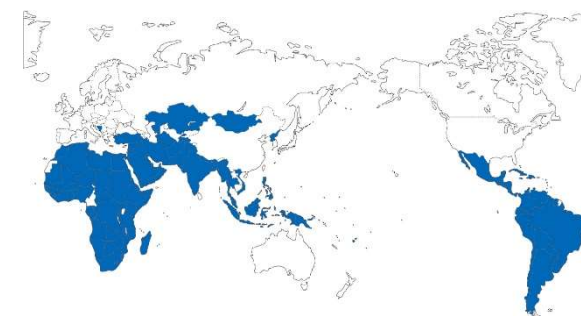
EXE-グローバルサウス株式ファンド

設定日	2023年10月20日
設定金額	8億900万円
投資対象国/地域	中国とロシアを除くグローバルサウスの20～30カ国
実質的な信託報酬	0.582%(税込)程度
新NISA	成長投資枠

グローバルサウスとは

- ◆ 南半球を中心に位置する新興国・発展途上国
- ◆ 西側諸国にも東側諸国にも属さず、先進国間の利害や対立から独立した価値観

人口増加や潜在的な経済成長、政治経済における国際的な影響力の拡大が注目



<類似ファンド比較>

ファンド名	EXE-グローバルサウス株式ファンド	朝日ライフ・MSCI・グローイング・アセアン株式ファンド	新光 サザンアジア株式ファンド
運用会社	SBIアセットマネジメント	朝日ライフAM	アセットマネジメントOne
信託報酬(税込)	0.582%程度	1.485%	1.678%～1.802%程度
投資対象国	20～30カ国	5カ国	7～9カ国/地域

設定予定の新ファンドの概要

日本国債ファンド:国内債券ファンドで業界最低のコスト



ファンド名	SBI日本国債(分配)ファンド (年4回決算型)
設定日	2023年11月28日(火)
実質的な 信託報酬率	0.099%
カテゴリー平均の 信託報酬率	0.410%
組入対象の想定 利回り	1.20%

「新NISA」向けの商品ラインナップ

つみたて投資枠：9本、成長投資枠：47本(含む「つみたて投資枠」の9本)

対象資産	ファンド名称	実質的な信託報酬	対象資産	ファンド名称	実質的な信託報酬
米 国 株	成長 つみたて SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	0.0938%	日 本 株	成長 つみたて SBI・iシェアーズ日経225インデックスファンド	0.1133%
	成長 つみたて SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	0.0938%		成長 つみたて SBI・iシェアーズTOPIXインデックスファンド	0.1133%
	成長 SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド	0.1138%		成長 SBI小型成長株ファンド ジェイクール 『jcool』	1.8700%
	成長 SBI・インベスコQQQ・ナスダック100・インデックス・ファンド	0.2388%		成長 SBI日本小型成長株選抜ファンド 『センバツ』	1.4850%
	成長 SBI・V・米国高配当株式インデックス・ファンド	0.1238%		成長 SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト 『jnext』	1.6500%
	成長 SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド	0.1238%		成長 SBI中小型成長株ファンド ジェイネクスト(年2回決算型) 『jnext II』	1.6390%
	成長 SBI米国小型成長株ファンド 『グレート・スモール』	1.5675%		成長 SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ 『jrevive』	1.8700%
	成長 アメリカン・ドリーム・ファンド	2.5850%		成長 SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリバイブ(年2回決算型) 『jrevive II』	1.8480%
グ ロ ー バ ル 株	成長 つみたて SBI・V・全世界株式インデックス・ファンド	0.1338%	先 進 国 株	成長 SBI・コムジエスト・クオリティグロース・日本株式ファンド	1.9888%
	成長 つみたて SBI・全世界株式インデックス・ファンド『雪だるま(全世界株式)』	0.1102%		成長 つみたて SBI・先進国株式インデックス・ファンド『雪だるま(先進国株式)』	0.1017%
	成長 SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1338%		成長 SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド	0.1138%
	成長 つみたて EXE-i グローバル中小型株式ファンド	0.3110%		成長 EXE-i 先進国株式ファンド	0.3090%
	成長 SBI・コムジエスト・クオリティグロース・世界株式ファンド	2.1010%		海 外 債 券	成長 SBI・iシェアーズ・米国総合債券インデックス・ファンド
成長 SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド	0.1438%	成長 SBI・iシェアーズ・米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド	0.1038%		
成長 つみたて SBI・新興国株式インデックス・ファンド『雪だるま(新興国株式)』	0.1760%	成長 SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド	0.1338%		
成長 SBI・中国A株インデックス・ファンド『雪だるま(中国A株)』	0.4138%	成長 SBI・iシェアーズ・米国ハイイールド債券インデックス・ファンド	0.2138%		
成長 EXE-i 新興国株式ファンド	0.3615%	成長 EXE-i 先進国債券ファンド	0.4110%		
成長 EXE-i グローバルサウス株式ファンド(11月登録予定)	0.5820%	円債	成長 SBI日本国債(分配)ファンド(年4回決算型)(12月登録予定)		0.0990%
成長 SBI・フラトンVPICファンド(12月登録予定)	2.1320%	バ ラ ン ス	成長 SBI・iシェアーズ・米国バランス(2資産均等型)		0.0938%
成長 ハーベスト アジア フロンティア株式ファンド	2.1240%		成長 SBIグローバル・バランス・ファンド	0.2700%	
新 興 国 株	成長 SBIインド&ベトナム株ファンド	2.2000%	REIT 金	成長 EXE-i グローバルREITファンド	0.3405%
	成長 SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド『サクッとインド株式』	0.4638%		成長 SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)(為替ヘッジなし)	0.1838%
	成長 SBI・UTI インドファンド	1.8540%			
	成長 SBI・UTIインドインフラ関連株式ファンド	1.8540%			
イ ン ド					

* 2023年10月26日現在(登録予定含む)

「プロダクト・ガバナンス」宣言

投資家の資産形成に資する商品提供

長期・積立・分散投資に活用できるインデックスファンドの提供

⇒同種同等ファンドの総経費率において業界最低水準を目指したインデックスファンドの拡充

情報提供・ 情報開示の強化

- 手数料、信託報酬などの投資コストの
明確な開示(隠れコストの排除)
⇒総経費率開示を2023年8月に開始
投資信託協会が定める2024年
4月21日からの規則改正を
前倒して実施。

商品性・適合性の モニタリングと改善

- アクティブファンドの選択と集中
⇒長期的なパフォーマンス、コスト、
純資産残高等の基準を含む内部規定に則り、
繰り上げ償還の検討および推進
＜プロダクトガバナンス委員会の設置＞
アクティブファンドの57ファンドについて、
3年以内に削減(約半数となる)

「プロダクト・ガバナンス」宣言の実行と進捗

＜投資家の資産形成に資する商品提供＞

長期・積立・分散投資に適したインデックスファンドの提供

設定日	新規設定ファンド名	
1	6月8日	SBI・iシェアーズ米国総合債券インデックス・ファンド
2	6月8日	SBI・iシェアーズ米国投資適格社債(1-5年)インデックス・ファンド
3	6月8日	SBI・iシェアーズ米国ハイイールド債券インデックス・ファンド
4	6月8日	SBI・V・米国増配株式インデックス・ファンド
5	6月8日	SBI・V・先進国株式(除く米国)インデックス・ファンド
6	6月8日	SBI・V・世界小型株式(除く米国)インデックス・ファンド
7	6月8日	SBI・V・米国小型株式インデックス・ファンド
8	6月8日	SBI・V・新興国株式インデックス・ファンド
9	6月8日	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジあり)
10	6月8日	SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド(為替ヘッジなし)
11	6月8日	SBI・iシェアーズ・米国短期国債ファンド
12	7月12日	SBI・iシェアーズ・日経225インデックスファンド
13	7月12日	SBI・iシェアーズ・TOPIXインデックス・ファンド
14	8月23日	SBI・インベスコQQQ・NASDAQ100インデックス・ファンド
15	9月22日	SBI・iシェアーズ・インド株式インデックス・ファンド
16	10月20日	EXE-i グローバルサウス株式ファンド
17	11月28日	SBI日本国債(分配)ファンド(年4回決算型)
18	12月以降	国内株式高配当株

同種同等ファンドの総経費率において業界最低水準を目指したインデックスファンドの拡充

＜商品性・適合性のモニタリングと改善＞

アクティブファンドの選択と集中

償還日	償還ファンド名	
1	7月5日	SBIポストコロナ ファンド
2	7月6日	早期償還条項付・新興国債券戦略1912
3	7月26日	米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式コース
4	7月26日	米国好配当株プレミアム戦略ファンド(毎月分配型)株式&通貨コース
5	9月21日	SBI・GS NexGen(代替エネルギー)
6	9月21日	SBI・GS NexGen(グローバルEV)
7	9月21日	SBI・GS NexGen(高成長DX)
8	9月21日	SBI・GS NexGen(先端医療)
9	9月21日	SBI・GS NexGen(次世代通信)
10	9月21日	SBI ジェンダー・フリー インデックス・ファンド
11	11月6日	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり)＜資産成長コース＞
12	11月6日	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり)＜年3%定率払出しコース＞
13	11月6日	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり)＜年5%定率払出しコース＞
14	11月6日	SBI地方創生・世界高配当株式ファンド(為替ヘッジあり)＜年7%定率払出しコース＞
15	11月9日	SBI-PIMCO ジャパン・ベターインカム・ファンド(愛称:ベタイン)
16	1月12日	SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)＜資産成長コース＞
17	1月12日	SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)＜年7%定率払出しコース＞
18	1月12日	SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)＜年15%定率払出しコース＞

10ファンドの償還に加え、今期中に8ファンド償還見込み
2023年度償還見込み: 18本/57本 進捗31%
(目標: 50%/3年)

当グループのアクティブファンドの長期の運用実績-(1)

(2023年9月末時点)

【国内小型株グロース】

	ファンド名	会社名	10年(年率) リターン	純資産額 (百万円)	信託報酬等 (税込)
1	DIAM 新興市場日本株ファンド	アセマネOne	19.02%	11,535	1.67%
2	SBI 中小型成長株F ジェイネクスト『愛称:jnext』	SBIアセット	15.39%	5,450	1.65%
3	DCダイワ 中小型株ファンド	大和	14.88%	1,920	1.67%
4	スーパー小型株ポートフォリオ	三井住友DS	14.73%	801	1.32%
5	新成長株ファンド『愛称:グローイング・カバース』	明治安田	14.70%	40,890	1.87%
6	SBI 中小型割安成長株F ジェイリバイブ『愛称:jrevive』	SBIアセット	14.60%	4,834	1.87%
7	三井住友・中小型株ファンド	三井住友DS	13.65%	6,506	1.65%
8	マネックス・日本成長株ファンド『愛称:ザ・ファンド@マネックス』	アセマネOne	13.09%	3,913	1.62%
9	新光 日本小型株ファンド『愛称:風物語』	アセマネOne	13.01%	16,493	1.76%
10	新光 小型株オープン『愛称:波物語』	アセマネOne	12.93%	3,416	1.76%
	平均値(全46ファンド)		9.71%	9,002	1.66%

当グループのアクティブファンドの長期の運用実績-(2)

(2023年9月末時点)

【インド株(為替ヘッジ無)】

	ファンド名	会社名	10年(年率) リターン	純資産額 (百万円)	信託報酬等 (税込)
1	高成長インド・中型株式ファンド	三井住友DS	18.58%	239,869	2.05%
2	SBI・UTIインドファンド	SBIアセット	17.58%	65,508	1.85%
3	T&D インド中小型株ファンド『愛称:ガンジス』	T&D	17.18%	11,421	2.05%
4	(ノムラ・アジア) ノムラ・インド・フォーカス	野村	16.76%	72,477	1.93%
5	HSBC インド・インフラ株式オープン	HSBC	16.03%	27,559	1.76%
6	イーストS・インド・インフラ株式ファンド	イーストS	16.02%	34,320	1.95%
7	イーストS・インド消費関連ファンド	イーストS	16.00%	132,096	1.95%
8	アムンディ・リそなインド・ファンド『愛称:マハラジャ』	アムンディ	15.50%	33,559	2.17%
9	ダイワ・インド株式-ガンジスの恵み-	大和	14.87%	3,673	1.85%
10	野村 インド株投資	野村	14.28%	351,767	2.20%
平均値(全23ファンド)			14.44%	67,761	1.94%

低コストのアクティブファンドシリーズの設定を検討

インデックスファンドに加えて、高付加価値のアクティブファンドにおいても、業界最低水準のコストで提供し、投資家の最適な資産形成に貢献する

第一弾：SBI日本シリーズ

SBI日本国債(分配)ファンド(年4回決算型)

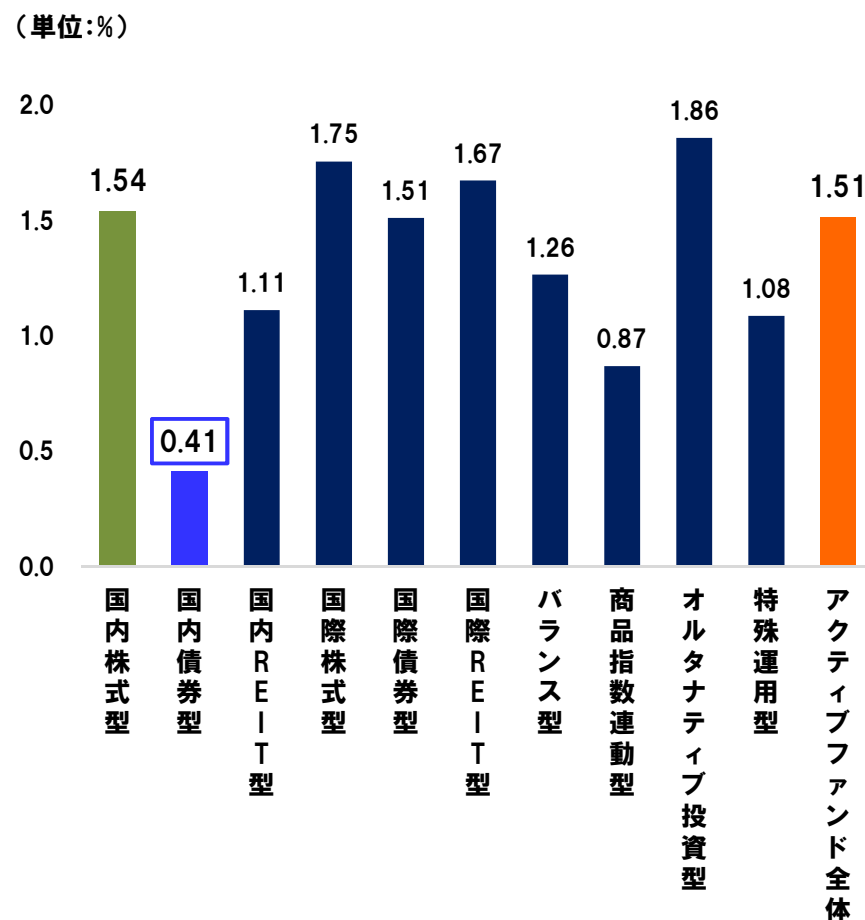
2023年11月28日(火)設定予定
 実質的な信託報酬: **年率0.099%**
 (カテゴリー平均 年率0.410%)



第二弾：低コストのアクティブファンドの新シリーズ

《スマート・アクティブ・シリーズ》

【参考】アクティブファンドのコスト
 信託報酬等(税込・平均)

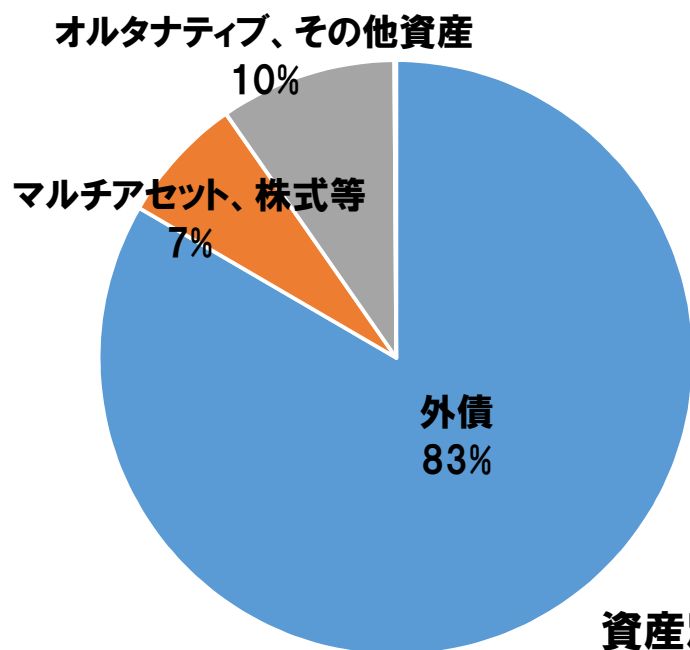


私募ファンドの運用残高の資産構成比

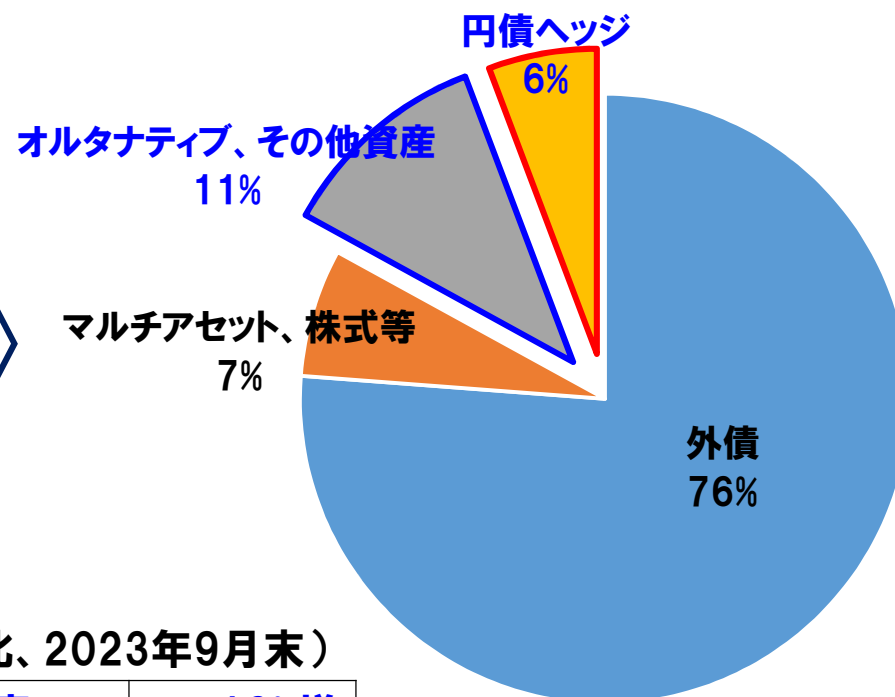
<市場環境に合わせた商品の提供>

- ① 円金利上昇への対応で円ヘッジ商品
- ② 外債から市場環境に左右されにくいオルタナティブ戦略

2022年9月末時点



2023年9月末時点



資産別増減(前年同月比、2023年9月末)

オルタナティブ、その他資産	16%増
円債ペア	56倍増

「オルタナティブ戦略・資産」を積極的に提供

SBIホールディングスは、世界的なオルタナティブ運用大手2社と提携

・英国マングループと共同出資会社設立

・米国KKRと共同出資会社設立



Man Group plc 「マン・グループ」

KKR & Co. Inc 「KKR」

トレンドフォロー戦略

プライベート・エクイティ

ロング/ショート戦略

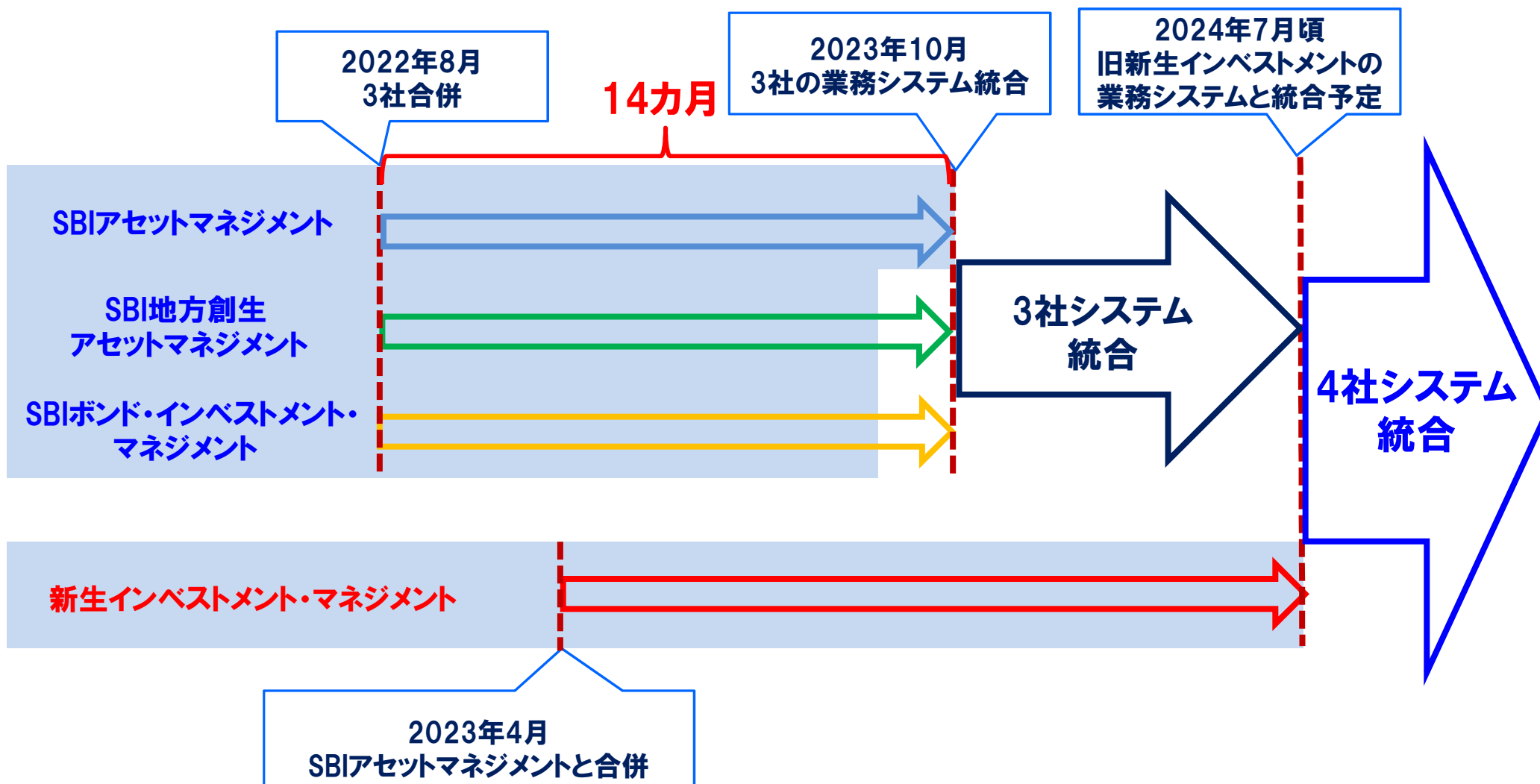
プライベート・デット



SBIグローバルアセットマネジメントは新会社（JV）と連携して、
良質なヘッジファンド(オルタナティブ戦略)を日本の投資家に広める役割を果たす

合併後の迅速なシステム統合

14カ月での3社システム統合は業界でも異例のスピード統合



ファイナンシャル・サービス事業

「投資家主権の確立」を支援するプラットフォームへ

対面販売金融機関

ネット販売金融機関

運用会社

個人投資家

プロダクト・アウトから
ゴールベース・アプローチへ

適切な投資情報の提供

適切な情報開示と
投資家への訴求

最適な資産形成

- Wealth Advisor
- ライフプラン
シミュレーション

- 分析・評価データ
- 運用シミュレーション
ツール

- ファンド分析レポート
- マーケティング支援

- 良質な投資情報
- 資産運用セミナー
- 投資助言



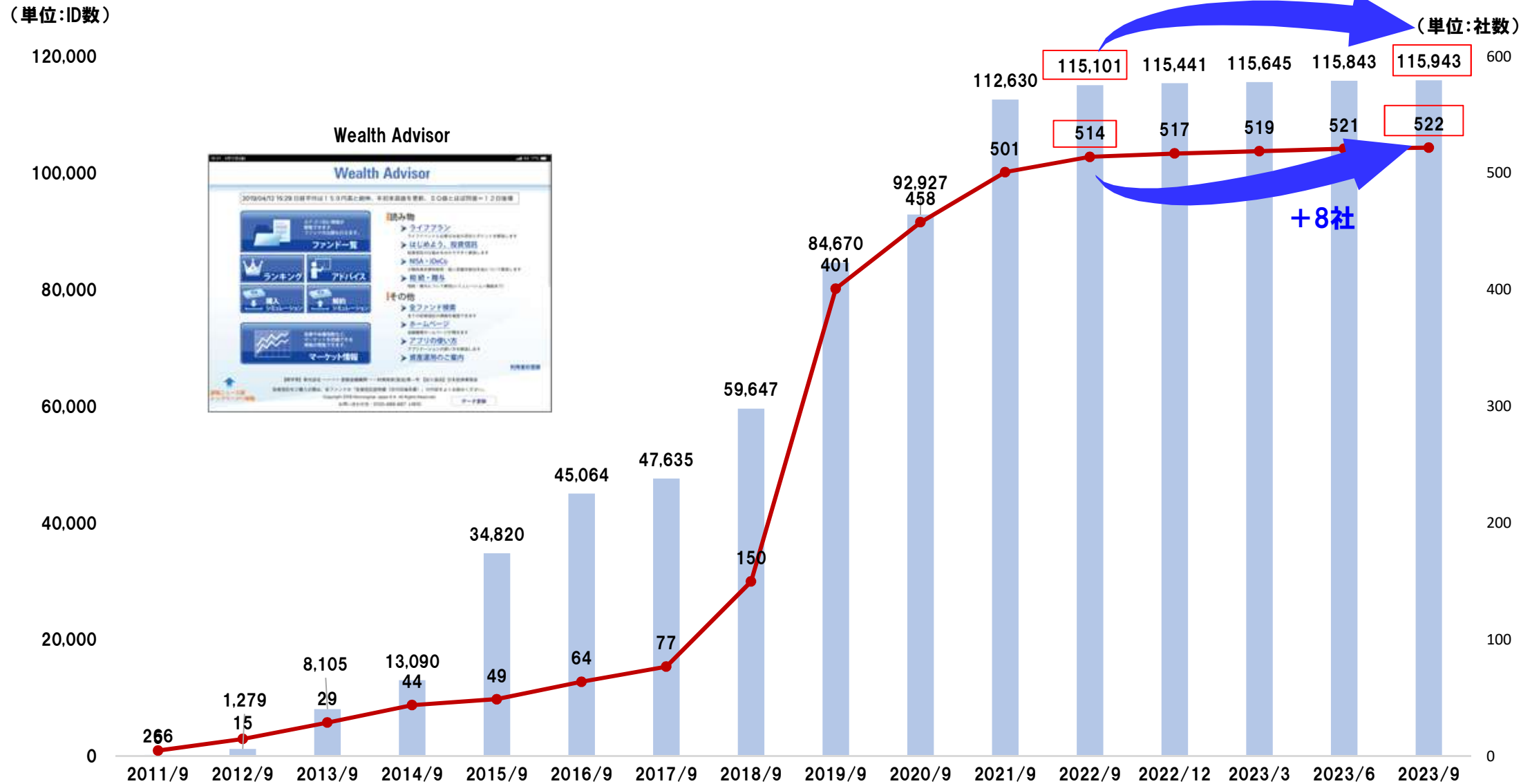
IT & AIを積極的に活用したプラットフォームへ



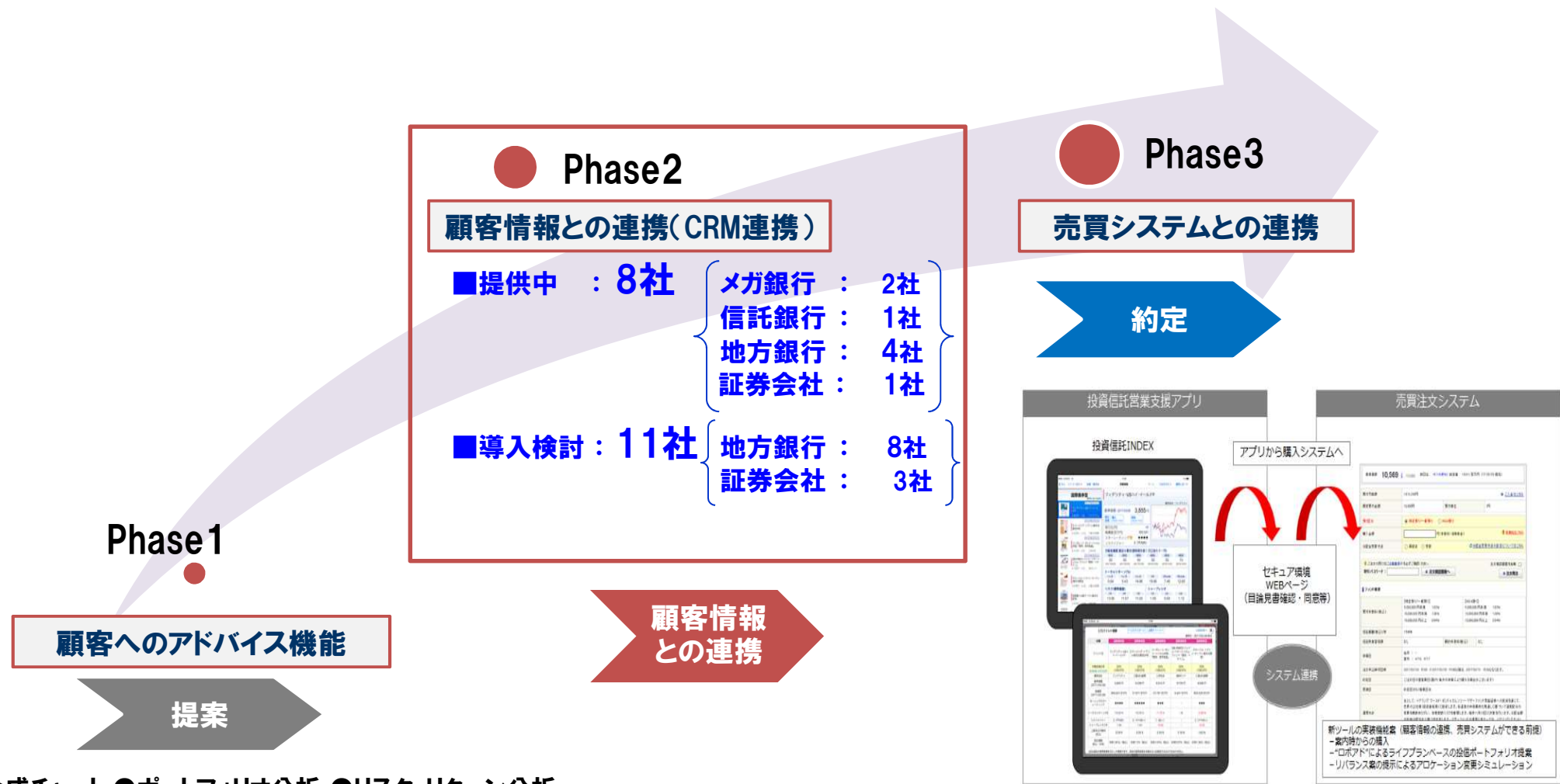
「投資家主権の確立」に貢献

「Wealth Advisor」の提供社数と提供台数の推移

今後は導入企業に「高付加価値サービス」の提供へ



顧客残高情報連携(CRM)は対面販売金融機関の ゴールベースアプローチをサポート



●比較・合成チャート ●ポートフォリオ分析 ●リスク・リターン分析

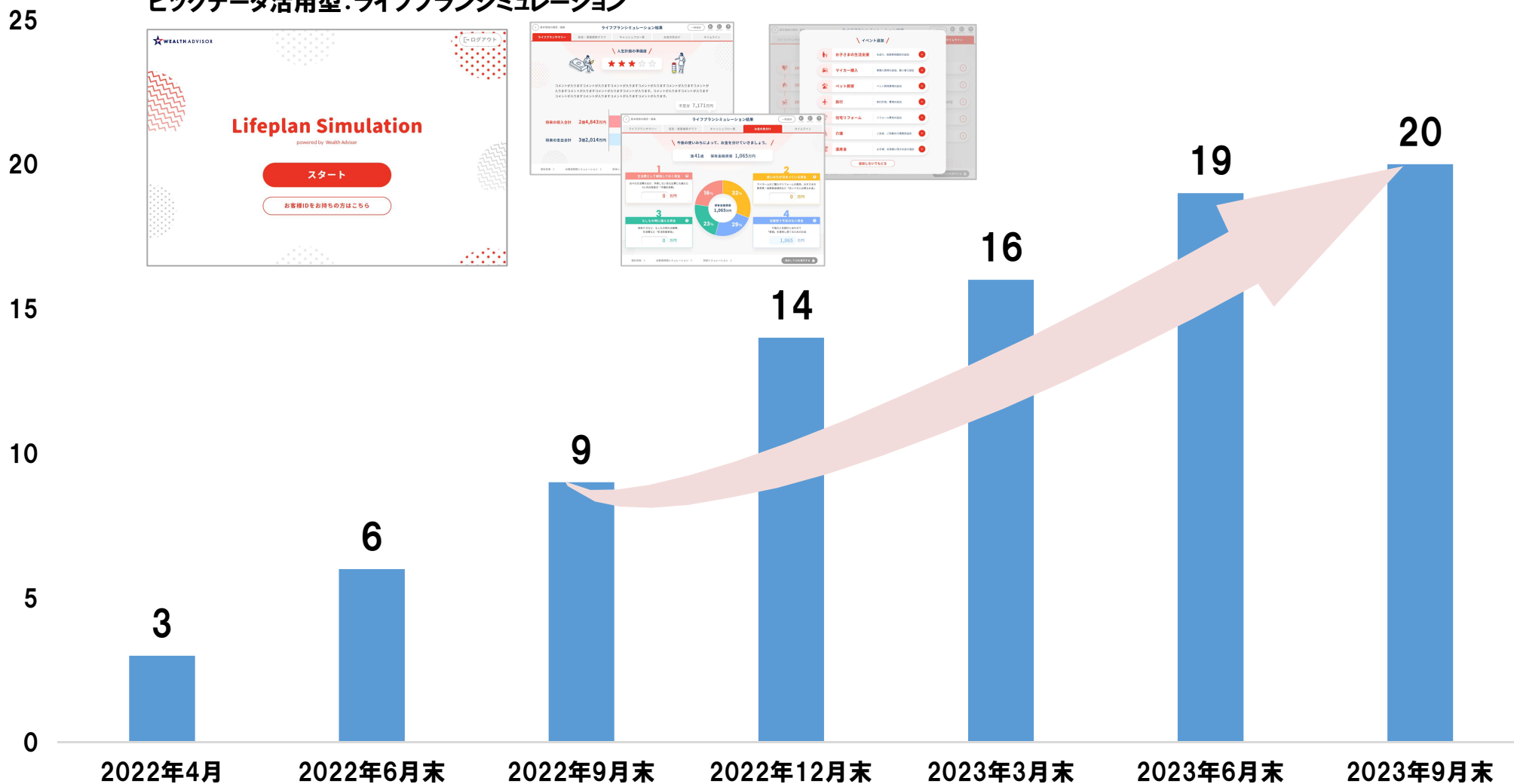


「ライフプランシミュレーション」の導入ニーズが拡大

提供社数は前年同期末比で2.2倍

(単位:社数)

ビッグデータ活用型:ライフプランシミュレーション



ネット販売向けのオンラインコンテンツは順調に拡大

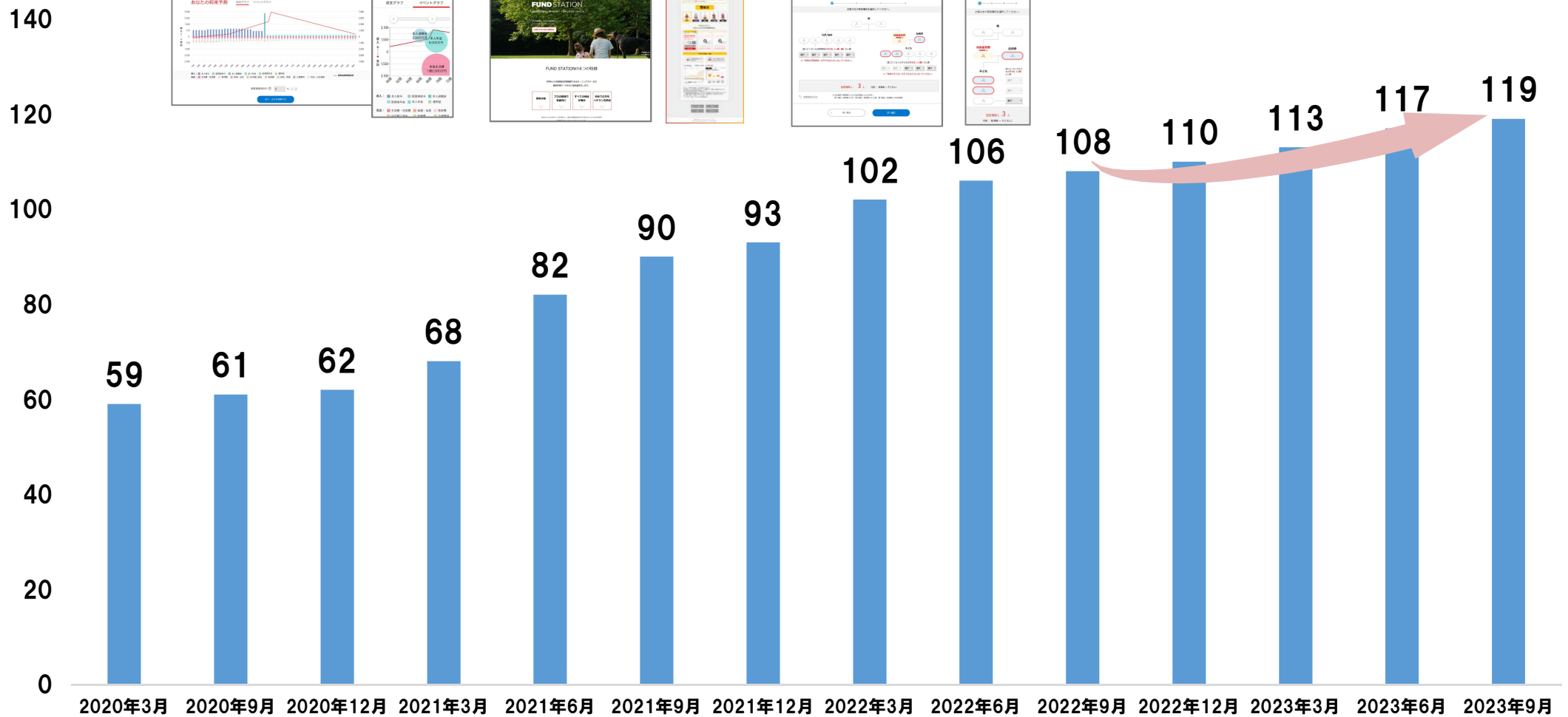
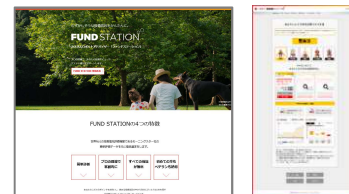
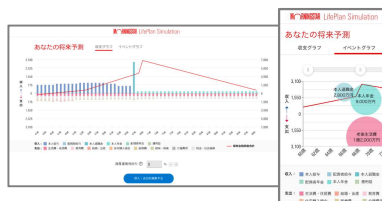
オンラインコンテンツの提供社数は前年同期末比で11社増加

ライフプランシミュレーション

ロボ・アドバイザー

相続シミュレーション

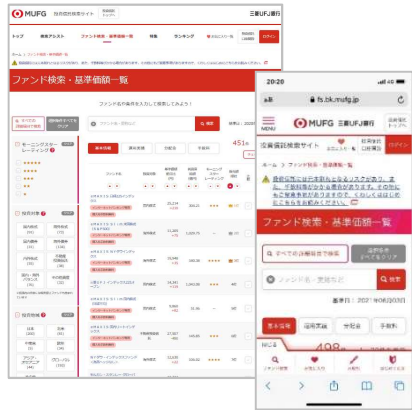
(単位:社数)



オンラインコンテンツは対面販売金融機関の アプリ・WEBサイトで掲載

＜メガバンクへの提供事例＞

＜三菱UFJ銀行＞ 投信データ&運用ツール



＜三井住友銀行＞ SMBC money plan ライフプランシミュレーション



＜みずほ銀行＞ SMART FOLIO ロボ・アドバイザー



＜地方銀行への提供事例＞

＜千葉銀行＞



ライフプランシミュレーション
ロボ・アドバイザー
iDeCo運用診断
つみたてNISAシミュレーション

＜武蔵野銀行＞



ライフプランシミュレーション
金融電卓
積立シミュレーション
お金の色分け
ロボ・アドバイザー
つみたてNISAシミュレーション
相続シミュレーション

＜肥後銀行＞



ライフプランシミュレーション
金融電卓
積立シミュレーション
iDeCo運用診断
節税シミュレーション
お金の色分け
ロボ・アドバイザー
相続シミュレーション

「新NISA」の「成長投資枠」向けファンドの見直しニーズが拡大

<成長投資枠対象外ファンド>

- ①信託期間20年未満
- ②毎月分配型の投資信託
- ③デリバティブ取引を用いた投資信託等

特に、②の毎月分配型ファンドは、
現在販売会社の中でも
残高・販売額が大きいものが多く、
ラインナップの見直しが必須

信託報酬などの「コスト」にも着目し、
投資家に最適なファンドの提供が必要

ラインナップ分析

1. カテゴリー（中分類）別本数

先進国株式 37%

その他 42%

5-2. フィーレベル・カテゴリー別分布図（パッシブ・32本）

フィーレベル・カテゴリー	安い	平均より安い	平均的	平均より高い	高い
国内株式・パッシブ	2	1	1	1	1
国内債券・パッシブ	-	-	-	-	-
海外株式・パッシブ	-	-	-	-	-
海外債券・パッシブ	-	1	-	-	-
先進国株式・パッシブ	-	6	-	3	-
先進国債券・パッシブ	-	1	1	-	-
新興国株式・パッシブ	-	1	-	1	-
その他資産・パッシブ	-	-	-	-	-
商品連動型・パッシブ	-	-	-	-	-
インバース・パッシブ	2	1	1	2	6
コモディティ・パッシブ	-	-	-	-	-
レバレッジ・パッシブ	-	-	-	-	-
特許投資・パッシブ	-	-	-	-	-

6-2. 「先進国債券」新規採用候補

ファンド名	運用会社	信託報酬	資産規模	運用期間	最低投資額
先進国債券	三井住友	0.5%	1,000億	10年	1万円
先進国債券	野村	0.5%	500億	10年	1万円
先進国債券	楽天	0.5%	200億	10年	1万円

モニタリング(継続的な監視)

1. 定量・定性評価項目

項目	内容	評価
信託期間	10年以上	10
コスト	信託報酬、運用コスト、売却手数料	4
運用実績	ベンチマーク、ファンダメンタルズ	6
その他	デリバティブ、流動性	4

スコアリング結果 (5段階)

高評価 (A)

平均的 (B)

低評価 (W)

2. アクティブ (先進国株式)

■ 先進国株式 (29本)

ファンド名	運用会社	信託報酬	資産規模	運用期間	最低投資額
先進国株式	三井住友	0.6%	1,500億	10年	1万円
先進国株式	野村	0.6%	800億	10年	1万円
先進国株式	楽天	0.6%	300億	10年	1万円

5. ウォッチリスト対象ファンド (4本/7本)

161. NISSI エコエッジ

162. NISSI エコエッジ

163. NISSI エコエッジ

164. NISSI エコエッジ

「新NISA」に向けたイベントが地方各地で開催

足利銀行：投信フェア2023in宇都宮 【2023年9月30日(土)】

352名が来場



セミナー会場の様子



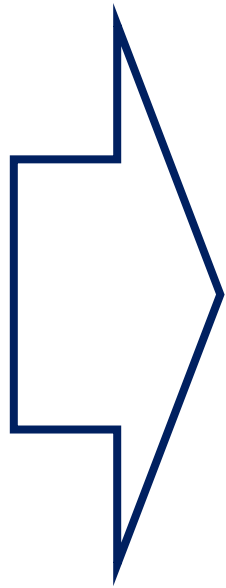
ブース会場の様子



基調講演
朝倉智也



7社の協賛



2023年11月11日(土) 資産運用フェア2023in京都



6社の協賛



300名規模

2023年11月18日(土) 人生100年時代FORUM



25社の協賛

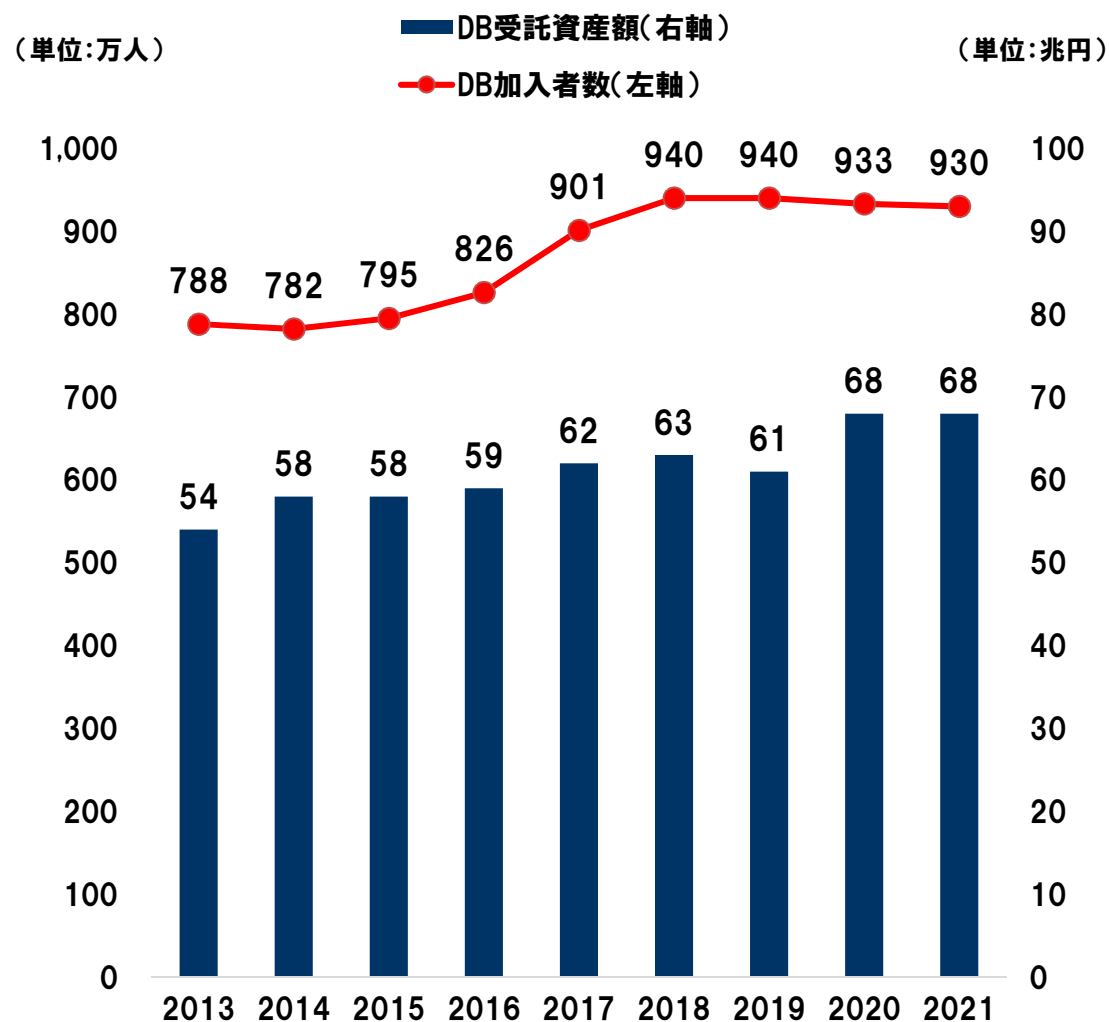


2,000名規模

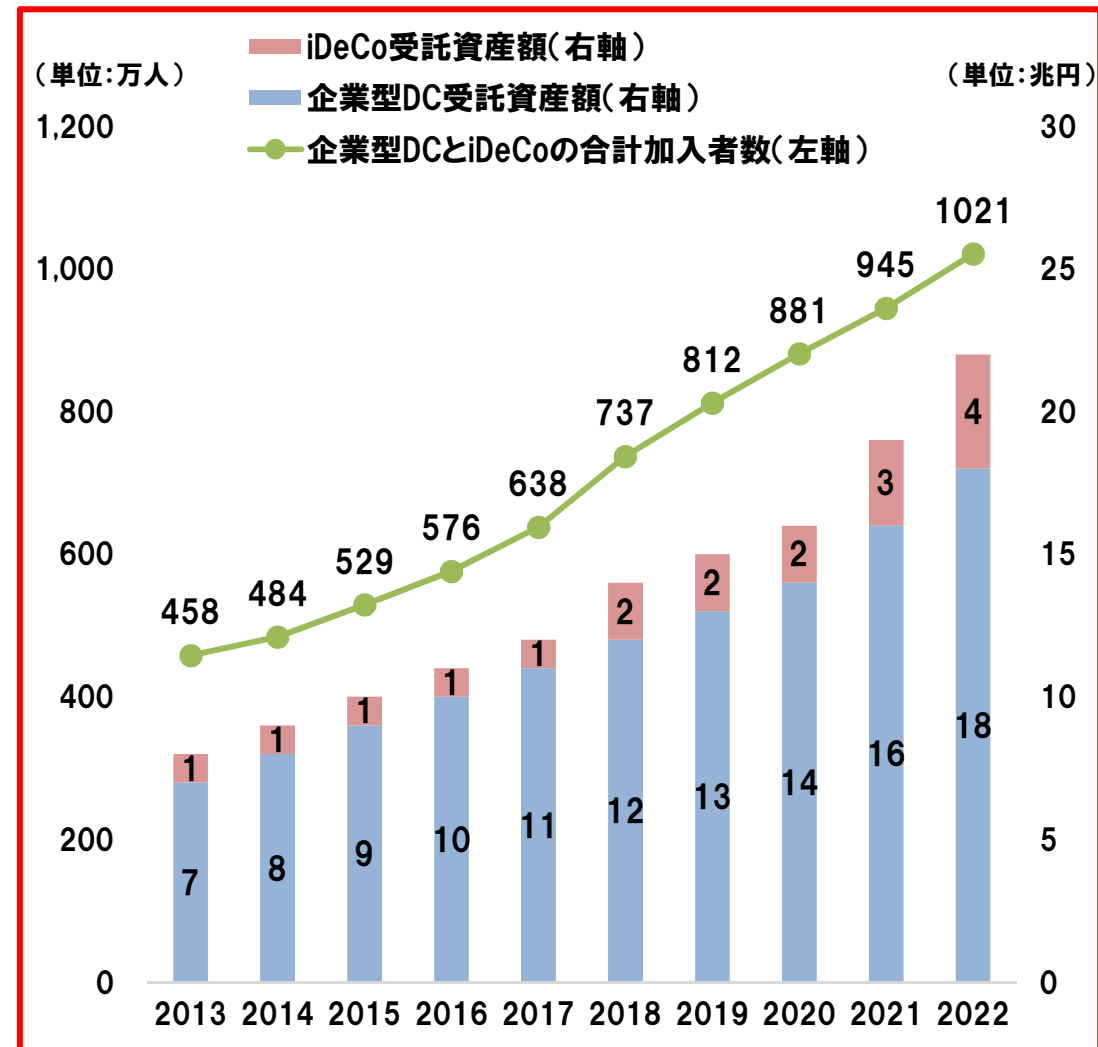


拡大する企業年金マーケット

＜DB加入者と受託資産残高推移＞

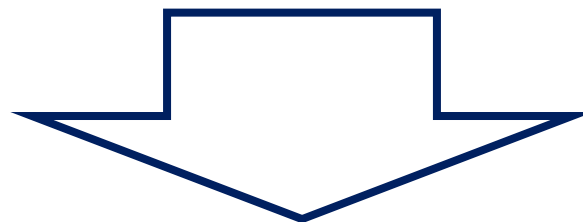


＜企業型DC・iDeCoの加入者数と受託資産額推移＞



投資教育は事業主の「努力義務」

加入者に対して投資教育の継続的实施は、
確定拠出年金法第22条の規定により、事業主の努力義務



1) 導入時教育

- 基礎的な事項を中心に教育を実施

2) 継続教育

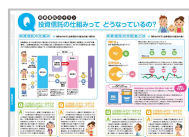
- 一人一人のライフプランに沿った最適な運用になっているかを確認
- 個別具体的な資産形成プランを提示

確定拠出年金(DC)採用企業の 従業員教育と最適なファンドの提供



投資教育・投資助言
サービスの提供

従業員向けセミナー 冊子/動画制作 ファンド評価



その他、投資助言、ロボ・アドバイザーの提供など

良質かつ低コストの
ファンドの提供

企業	面談実施の大手事業法人のニーズや悩み
A社	運営管理機関による投資教育が行われていないため、従業員教育が課題
B社	従業員教育と商品ラインナップの見直しのニーズ
C社	商品ラインナップの見直しニーズ
D社	元本確保型商品過多による商品ラインナップの見直しのニーズ

確定拠出年金 & iDeCoの売れ筋ファンドランキング

(SBIベネフィット・システムズ)

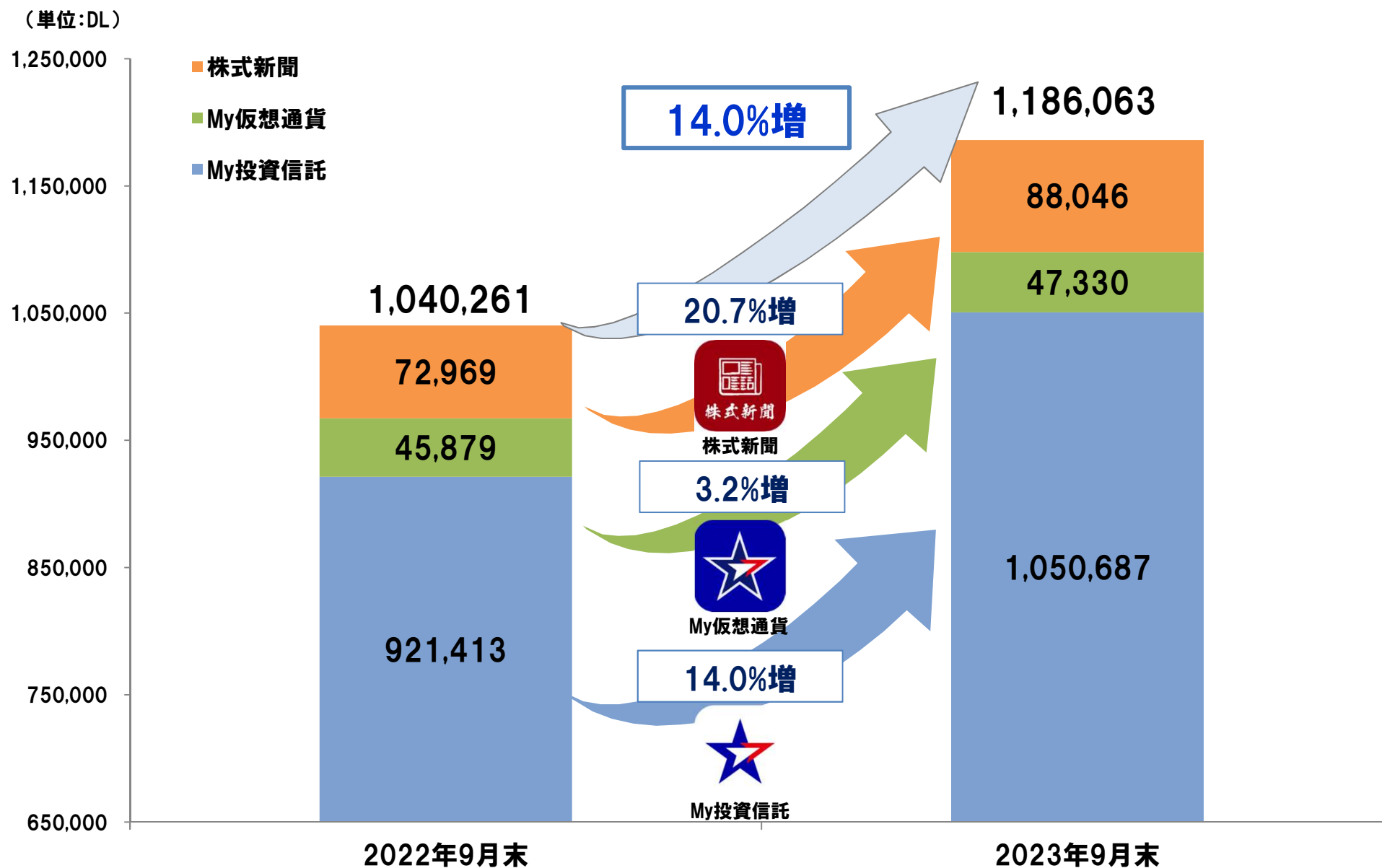
企業型確定拠出年金トップ10 (23年9月末時点)

順位	ファンド名
1	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド
2	DIAM外国株式インデックスファンド(DC年金)
3	SBI・全世界株式インデックス・ファンド
4	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
5	キャピタル世界株式ファンド(DC年金つみたて専用)
6	野村外国債券インデックスファンドDC
7	DCニッセイ外国株式インデックス
8	DC日本株式インデックス・オープンS
9	三井住友・DCつみたてNISA・日本株インデックス ファンド
10	DIAM外国株式オープン(DC年金)

個人型確定拠出年金(iDeCo)トップ10 (23年9月末時点)

順位	ファンド名
1	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)
2	eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)
3	SBI・全世界株式インデックス・ファンド
4	DCニッセイ外国株式インデックス
5	eMAXIS Slim 先進国株式インデックス
6	<購入・換金手数料なし> ニッセイ外国株式インデックスファンド
7	eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)
8	ひふみ年金
9	iFree NYダウ・インデックス
10	三菱UFJ純金ファンド(愛称:ファインゴールド)

スマートフォンアプリ全体の ダウンロード数は継続して二桁の伸び



3アプリ統合によるシナジーとコストの大幅削減



投資信託

株式

暗号資産

マーケット

新NISA

生成AI

・My投資信託、株式新聞、My仮想通貨アプリを統合

・CMS(コンテンツ・マネジメント・システム)の統合

・新機能の追加

- ・「新NISA」向けシミュレーションツール
- ・生成AIを活用した機能

・マーケットを網羅した統合アプリにより、資産形成をさらに身近に

・リソースの集中によりコストを大幅に削減

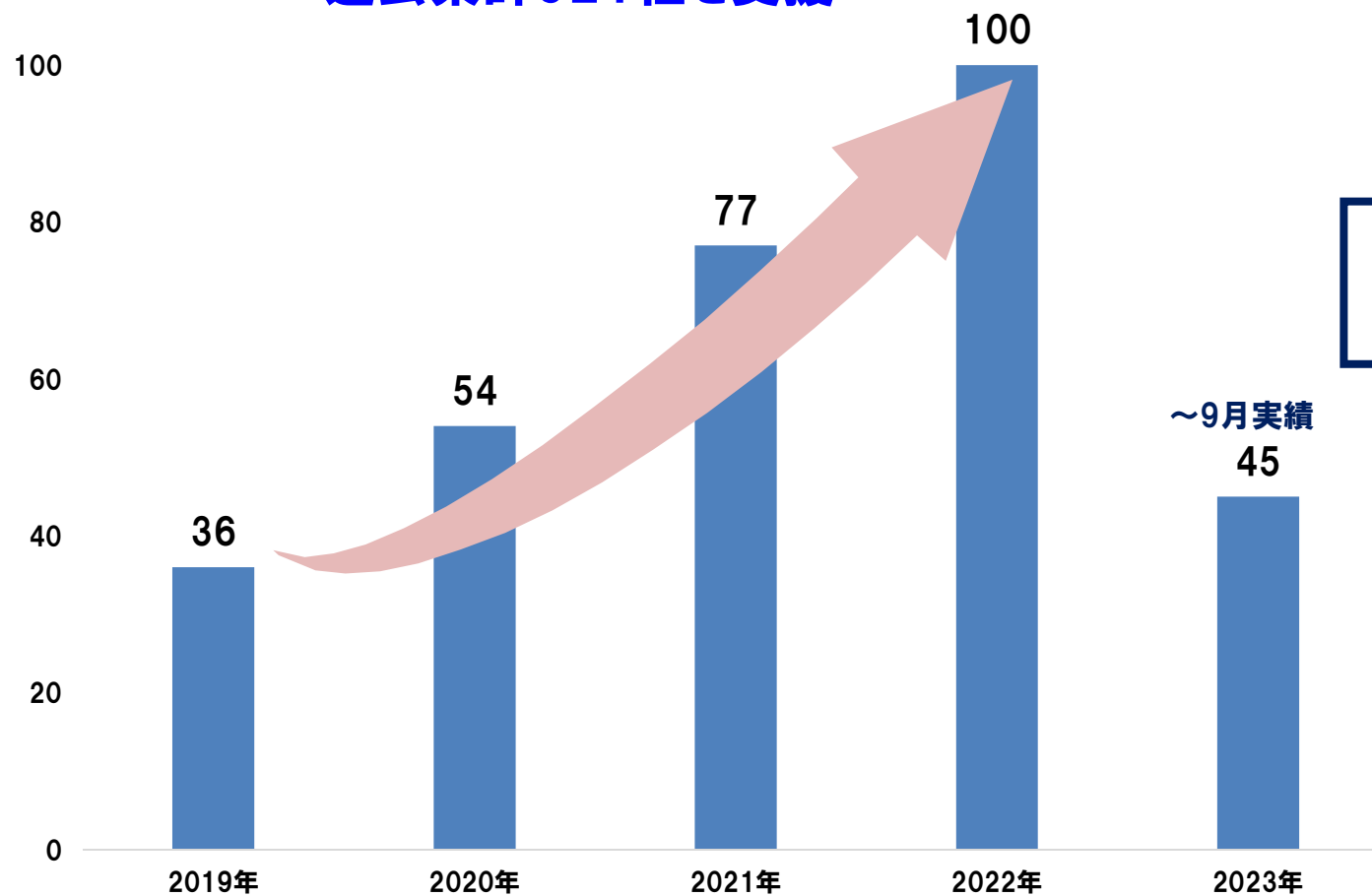
上場事業法人向けのIR支援サービスのニーズが拡大

ウェルズアドバイザーのメディア & 株式新聞オンラインでサポート

単位:社数

IR支援サービス利用の年間社数

過去累計921社を支援



分析レポート

株式新聞 インタビュー記事

オンラインIR説明会

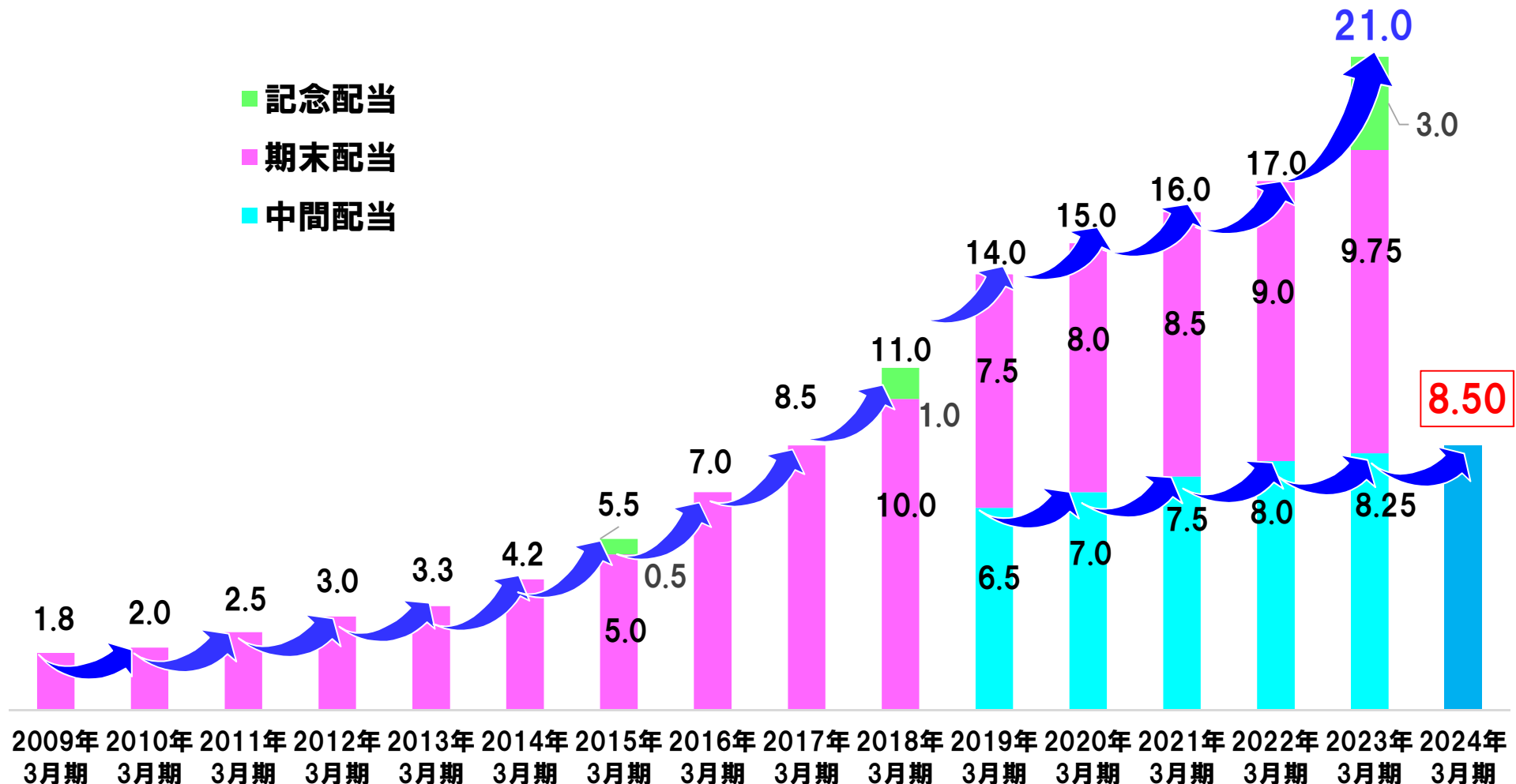
WEB特集

当社の株主還元 & 株主数

2023年3月期中間配当は25銭増配の8円50銭

- ・中間配当開始(2019年3月期)以降は増配を継続中
- ・通期の配当は14期連続で増配を継続中

(単位:円)



暗号資産(仮想通貨)XRPの価格推移

2019年9月末(中間期)の提供から8回の合計276XRPを提供
 8回の加重平均単価は、55.7円<(@83) (2023年10月25日現在)

※基準日ごとに1単元以上(5単元未満)を保有されていた株主様の場合



当社株式(4765)は TOPIXに加えて2つの主要インデックスの構成銘柄に採用

□ JPX 日経中小型株指数 JPX-NIKKEI Mid Small

- JPX日経中小型株指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする**JPX日経400**と同じコンセプトを中小型株に適用し、持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業で構成する株価指数。
- 当社の採用日:2023年8月31日 (定期入替による採用)

□ 日経連続増配株指数

- 全上場銘柄を対象とし、実績ベースで増配を原則10年以上続ける銘柄のうち、**連続増配の年数上位から70銘柄**を構成銘柄とする指数。
- 当社の採用日:2023年6月30日 (本指数の公表開始当初の構成銘柄)

当社は2023年3月期まで14年連続増配を継続

当社の株主数の推移

